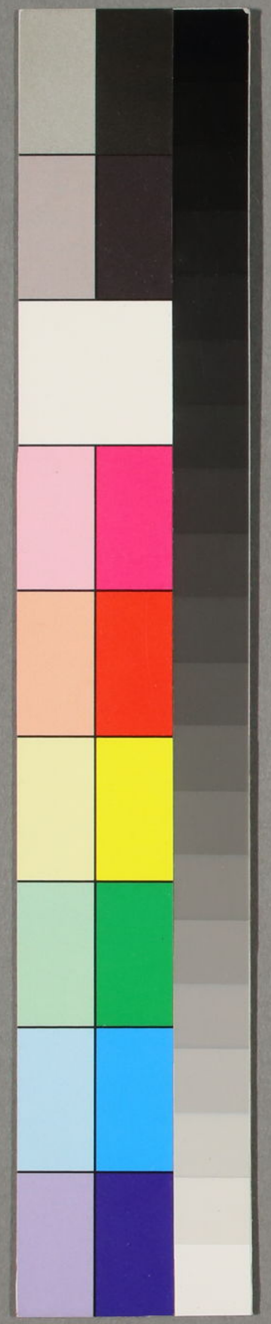


諸籌金並算方

一株つくひわ塩ろう付
一大籌の名れ事
一尺籌の名乃事
一田籌乃名のり
一亀井さん割
一八さんのろう多
一見一乃割并ケけ籌
一彩百文けんの法
一検地付斗代の事
一毛尺先れ先のり
一枝ゝ俵れまろう事
一木割素米ゝ并
一ざいめく賣賣海ゝ并
一米さうど並割付
一小籌乃名のり
一糸籌の名れ事
一猪ゝ宣の法
一九九の九ろう多
一八籌の割并ケけさん
一みて割籌并割てけ籌
一屋内地形つく様
一糸の方の事
一俵籌よのつろう
一俵里ゝのり
一賣賣そんそくの事
一板そだ乃事

十八文七下
十八文八下
十九文
十九文三下
十九文四下
十九文五下
十九文六下
十九文七下
十九文八下
十九文九下
十九文下
十九文下
十九文

▲米さうだとう仕
拾十五米六十六の時八
七万千百六十六六六
六十六八時八百千六六六
七十八時八百千六六
七十六八
八十八時百弐千六六
八十六八百七十七六六
の十八時八百七十六
の十六八百四
七十八八
一十一時八百十五六
一十一十一時八十六六
一十一十一時八十六六
一十一十一時八百
一十一十一時七十六六
一十一十一時八
一十一十一時七十六六
一十一十一時七十六六

大數之名

十 百 千 万 億
兆 京 垓 秭 穣
溝 澗 正 載 極
小數之名 分 厘
毛 絲 忽 微 纖
沙 塵 埃 渺 漠
尺數之名 丈 尺
寸 分 厘 毛 絲
弁數名 石 計 升
合 勺 抄 撮 圭

右本拾法八十九分七寸三寸六
八分拾法八十九分七寸三寸六
右弁の法 六二六
今弁の法 六二八二七

一ゆたとうくん人よ
入よさん
人の年数ゆ
乃中着わん美剤
新のゆづり沼剤巻
換地くとうはとそゆ
為代米ないちよ剤巻
一地代の屋敷
乃中着わん美剤
新のゆづり沼剤巻
換地くとうはとそゆ
為代米ないちよ剤巻
一地

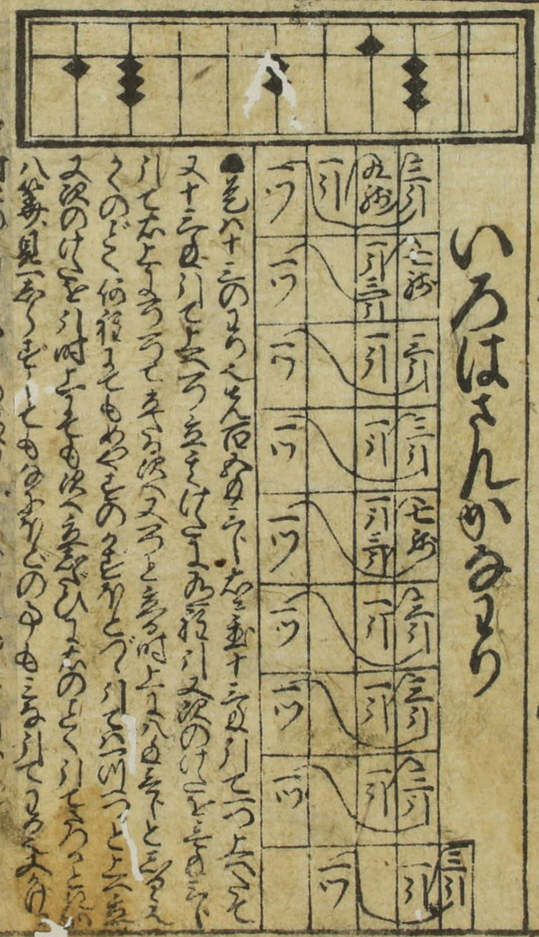
田數名町反畝
歩分厘毛絲

[illegible]

金 [illegible] 百七十匁
銀 同 百四拾匁
銅 同 七拾匁
真鍮 同 六十匁
鉄 同 六十匁
錫 同 四十匁
鉛 同 四十匁
錫 同 三拾匁
丈 同 八十匁

一黒実実并ろ沈銀　一ろの実近くまつて[illegible]
ちん銀とゆるしくちる事
一銀め二十匁と三十人そろうげん指もつ
牛るのめしひ不同ゑと日数そ[illegible]ゑさん
一四角同巻の表　一同ゆさんの表
一祝ぎごとさん　一いろはさん

いろはさんかみより



九九の数

○第一

●二三ノ四　二三ノ六　二四ノ八　二五ノ十　二六ノ十二　二七ノ十四
二八ノ十六　二九ノ十八　●三三ノ九　三四ノ十二　三五　十五
三六　十八　三七　廿一　三八　廿四　三九　廿七
●四四ノ十六　四五ノ二十　四六　廿四　四七　廿八　四八　四九　廿六
●五五　廿五　五六　三十　五七　三十五　五八　四十　五九　四十五
●六六　廿六　六七　四十二　六八　四十八　六九　五十四
●七七　四十九　七八　五十六　七九　六十三
●八八　六十四　八九　七十二
●九九　八十一

○第二　八義付りかめ并割

○二一　天作五
とんこうよわるとき二わるとき二わるとき
あつとこれとこれとのみなり
○二進　一十
とんこうよわる時八二りてハこわり
二りてハこわりとのみなり

○銀百弐拾匁　二ツ割八〇六拾匁　弐百八十匁

二らんの一十　二らんの一十　二天作五
二らんの一十　二らんの一十
二らんの一十　二天作五
二らんの一十
二一天作五

二五　十
二二　四
二七　十四
一二　二
二六　十二

三四とらそ　上二三五ひ内四ひ川一のころ
ひく
二五十とらそ　あとの二つをあらためて第一つひくなり
二ノ二とらそ　上二三五ひ内二ひくんわと三のくらいを七十四とらそ　所一まをうて下ノ四を引く
ひく
二六十二とらそひ一をあらうて下の二ハ川ん

七
二
一
六

三二五　とらこうこうろ河ろ　わりばいを三うして　下へうとくなり
三二六十二　とらこうこうろ河ろ　わりばいを六うして　下へうとくなり
三進一十　とらこうこうろ河ろ　三うりてハうわり　三うりてハうとくなり

米千百三拾四石ノ三分刻ばい　二百七拾八石ノ六分

二らんの一十　二らんの一十
二らんの一十　三二六十二
三二六十二
三一三十一
ろる

三八　二十四
三七　二十一
三三　九

千　百　十　石

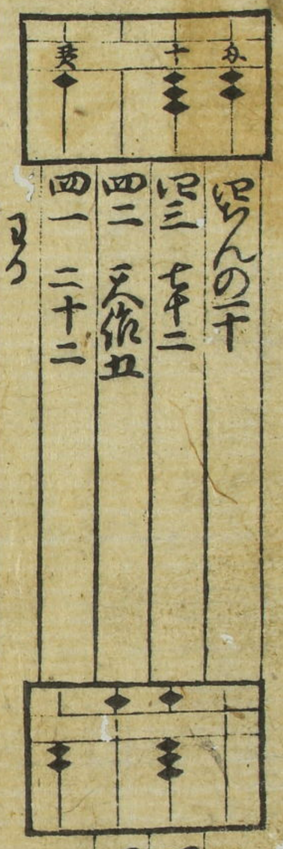
引
三八ハ十四引とりそ二を八うして下の四を引く
三七ハ十一引とりそ二をもうして下の一を引く
三三九引一ぬとりそ三をうして下へくるもの

八
七
三

千　百　十　石

とらこうこうろ河ろわりばいを二　めて下へうとくなり
四二六十二　とらこうこうろ河ろ三わりばい　とそうして下へうとくなり

四二天作五　とらこうこうろ河ろ二わりばい　又とうくなり
四進一十　とらこうこうろ河ろ川　ろ上四ろ川七ハうとくなり



四二　五作五
四一　二十二

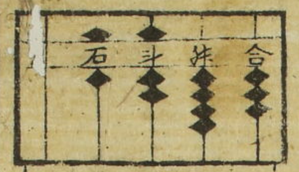
四八　三十二
四五　二十
二四　八

か　め　升　刻

引

四八　三十二引とりて下の二を引く　八
四五　五引とりて上の五を引く　五
二四　八引とりて上の八を二に引て下の二を二に引て下の二のくらいに二のくらいに二を引て下の二　二

五一加一　とりかへしつくるなり
五二加二　とりかへしつくるなり
五三加三　とりかへしつくるなり
五四加四　とりかへしつくるなり
五進十　とりかへしつくるなり



五三　加三
五四　加四
五一　加一
五二　加二

五六　三十
五八　四十
五四　二十
五一　一

米六石七斗四升三合　刻び方三斗四升米合合

あ　升　刻

六六　六十
六八　八十
六四　四十
六一　一

六一加一四　とりかへしつくるなり
六二　六十二　とりかへしつくるなり
六三　六十三　とりかへしつくるなり
六四　六十四　とりかへしつくるなり

六五八十二　とかけてろくかけわるべしなを八
ゆへ　ことに二くらあるなり

六進二十　とかけてろくかけわるべしなを八
一ゆへ　六八七六二くらあるなり

水六を乗百を足分ゆ六ことに割八〇三乗五百六拾八

六りんの一十
六五　八十二
六四　六十四
六一　加下四
六三　三六作五
六二　三十二

六九　五百
六六　二十六
一六　六
五六　二十
三六　十八

あるいはりんのとしをそろぐんとのそひしてりあ二あ代八
へつるるしわ〜ごとさんわ〜さ四へ分八さん見一をりいるる
あのごとをうりのもと

七一加下三　とかけてろくかけわるべしなを八
そまを乗ちをとりて六ことなる

七一加下六　とかけてろくかけわるべしなを八
ゆへ　ことに二くらあるなり

七三加下二　とかけてろくかけわるべしなを八
ゆへ　ことに二くらあるなり

七四加下五　とかけてろくかけわるべしなを八
ゆへ　ことに二くらあるなり

七五七十二　とかけてろくかけわるべしなを八
ゆへ　ことに二くらあるなり

七六八十四　とかけてろくかけわるべしなを八
ゆへ　ことに二くらあるなり

七進二十　とかけてろくかけわるべしなを八
ゆへ　ことに二くらあるなり

未六を七百を合ゆ七つに割八〇八百六拾八百七十六五

七りんの一十
七二　加下六
七三　四十二
七りんの一十　七一加下三
七五　七十二
七四　五百五
七六　八十四
ゆる

二七　六一
四七　九八
一七　七
七八　五十六
五七　二十五
七八　五十六

八一加下二　とかけてろくかけわるべしなを八
ゆへ　ことに二くらあるなり

八二加下四　とかけてろくかけわるべしなを八
ゆへ　ことに二くらあるなり

八二加下六　とハ八二ヲ掛テ六ヲ加ヘレバ
ハ四天作五　ハ四天作五ト
ハ五六十二　とハ八二ヲ掛テ六ヲ加ヘレバ
ハ六七十四　ハ六七十四ト
ハ七八十六　とハ八二ヲ掛テ七ヲ加ヘレバ
ハ進一十　ハ進一十ト

ハ八　四十
ハ八　三十二
六八　四十八
七八　五十六
八八　六十四
二八　十六
一八　八

ハちんの一十　八四天作五
ハ二加下六
ハ五六十二
ハ六七十四
ハ七八十六
ハ二加下四
ハ一加下二

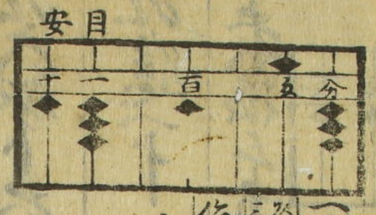
九八　四十
八八　三十二
六八　四十八
七八　五十六
八八　六十四
二八　十六
一八　八

○第三 見一并九ノ目 籌付り いろは刻

見一三ツ作九一 見一とハ目安三ツとまるものハ刻ハ九ツ目安三ツ作九ツ目安九ツ作九一

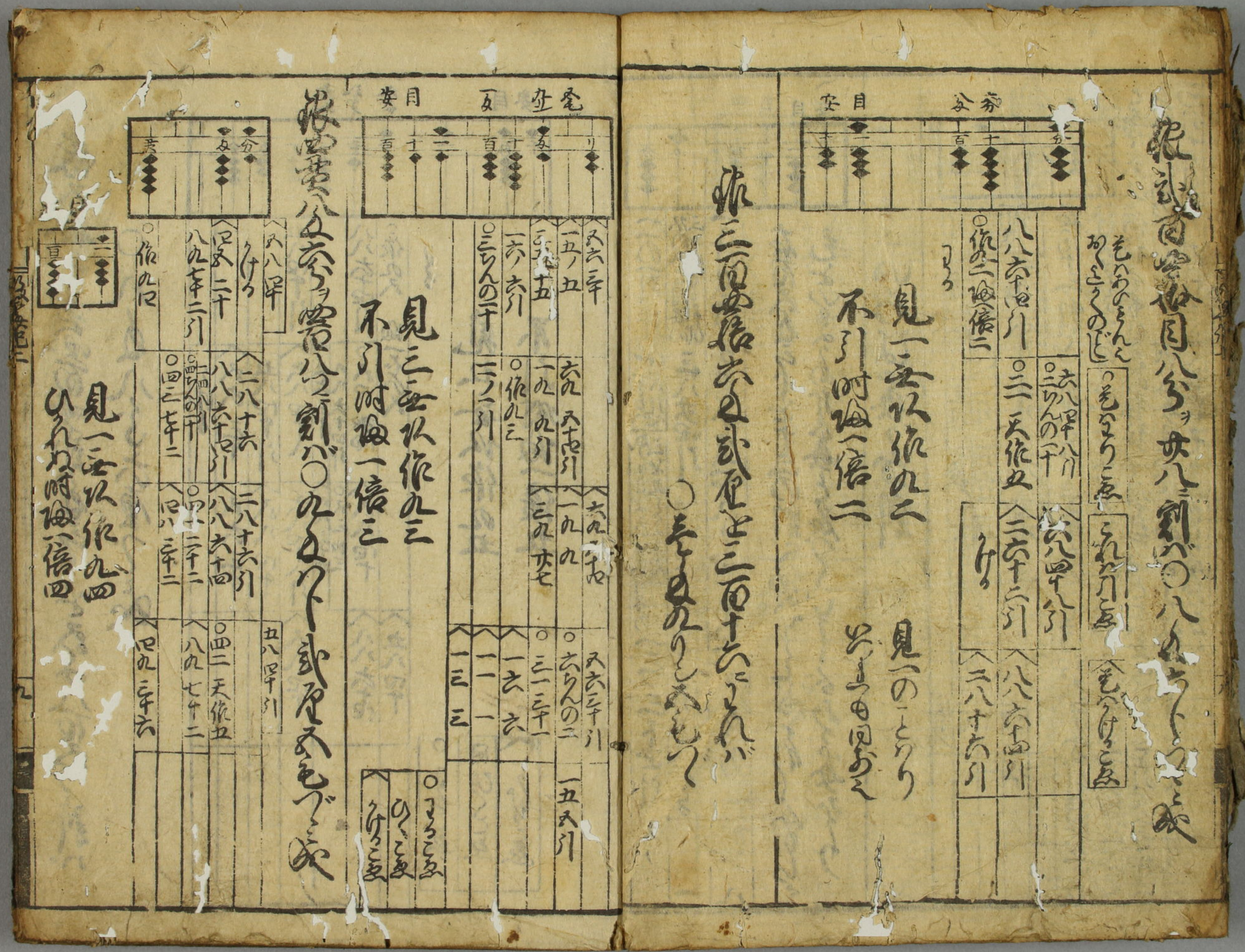
とハ刻付と目安のまるとハ九ツ目安九ツ作九一とハ目安三ツ作九一

倍一倍一



一進一十 八一ツ作九一 目安三ツ作九一 目安三ツ作九一 目安三ツ作九一

倍一倍一倍一



求ル八百五十五貫五百五十八匁ニテ刻ハ

○八匁八分六厘ニ成

見五二以作ル五

不引附倍五

○つること

日ひくこと

けること

求ル拾六貫八拾四匁六分七厘七毛ニテ刻ハ

○八匁ノ分ハ八百六十四ニ成

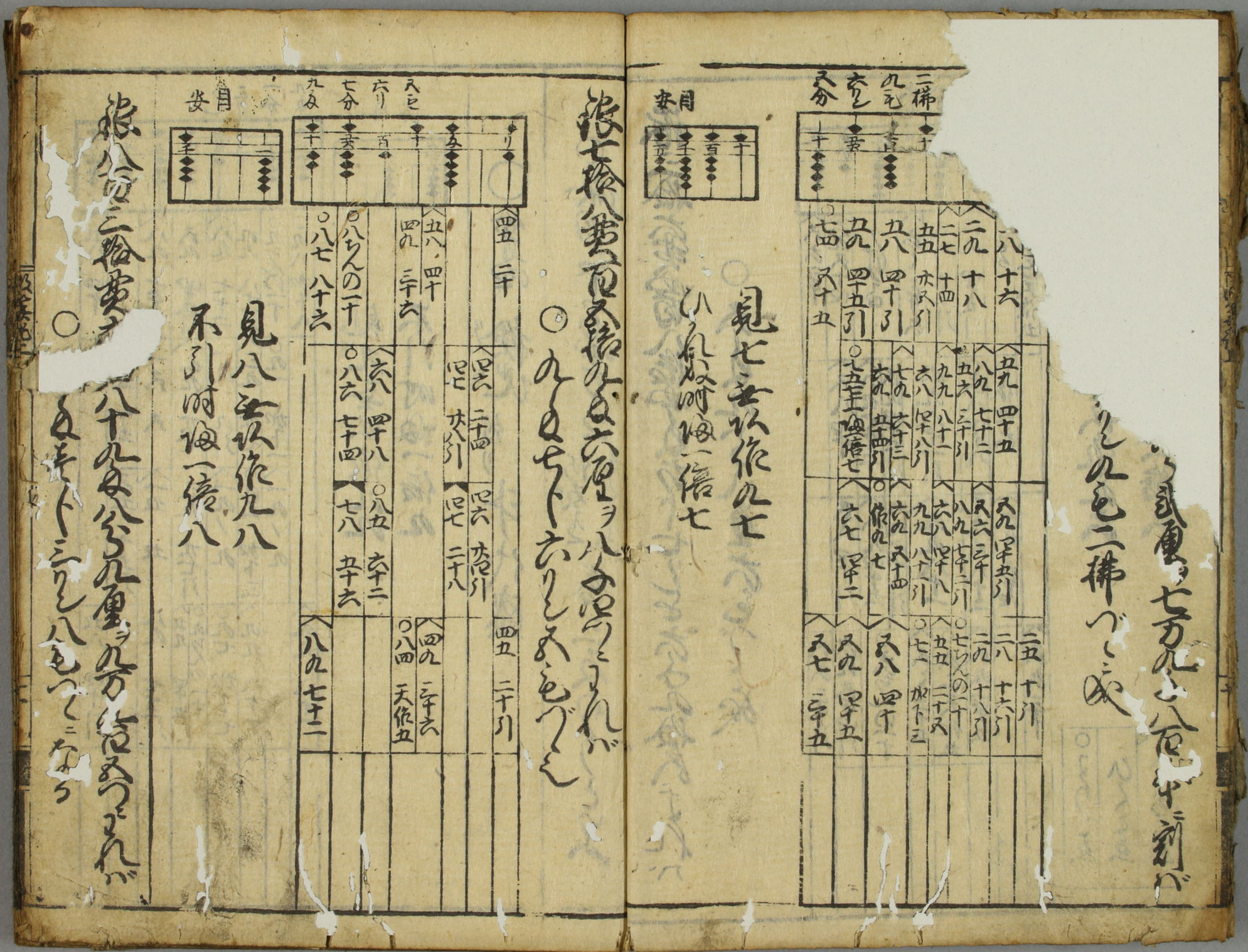
以作ル六

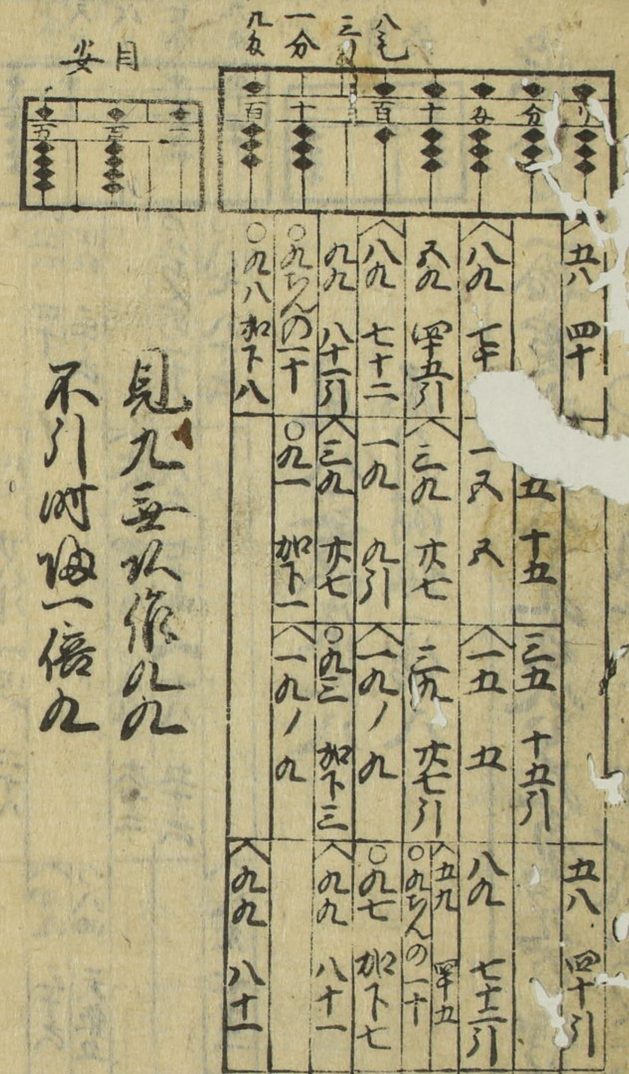
一倍六

○つること

ひくこと

けること

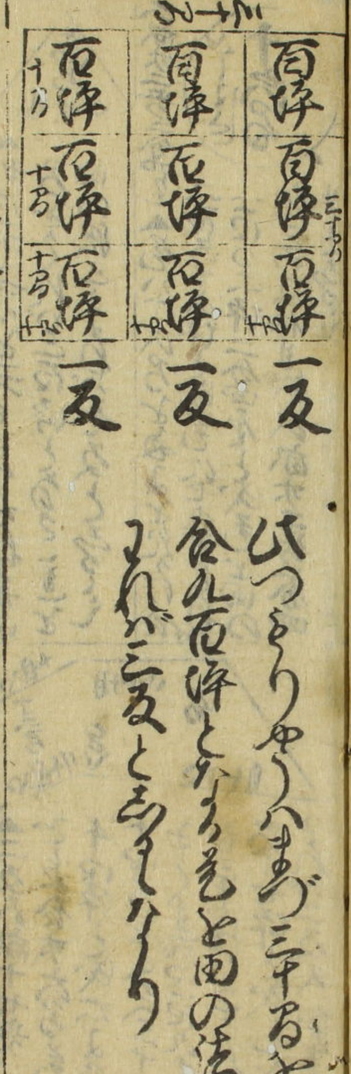

見七五以作九七
八九九四十引
見八五以作九八
不引時倍一倍八
見七五以作九七
八九九四十引
見八五以作九八
不引時倍一倍八



見九五五作九九
不川河海一倍九

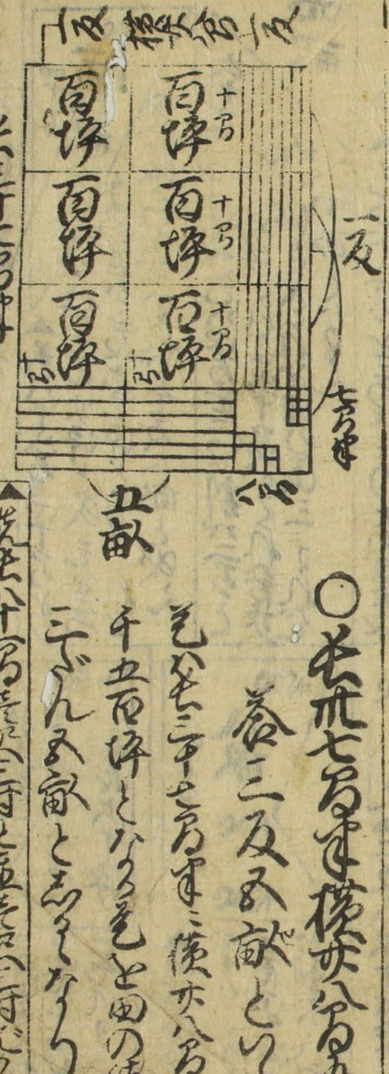
○第四　撰地　付り　外代盛

○坪面三千百四十方あり　坪面の法三百坪とかけて
　　答三反六畝わりとなり



ひつくりかへしまづ三千百四十方を四にてかけ
合九百坪となる坪と坪の法三百坪とかけて
うれば三反とかくなり

○坪面七百四十方ある坪面の法八分の
　　答三反六畝とかく
坪三千七百四十方　坪の法三百坪　一反　一反　一反
五畝　千五百坪となる坪と坪の法三百坪
三ぶん六畝となるなり



坪面の法三百坪　一反　一反　一反
坪三千七百坪
坪面の法三百坪
坪八千一百坪

分を人の五年とおもひつまり但百姓ののりとこの気ハ
わまりち気ハ人の一つ何ぞと云四年の数ハ
わまろ何ハ七ちと五年の気ハ
五五五百十二とあるこの気ハ
くこの百八十七とあり八十二ハ
ちの気ハ八月五日の八月
とこの数ハ三百
とこの数ハ三百
三百八十四
百八十二
百十二
百八十二
百八十二
百八

▲表こそ百は十百裏は
百は八百裏は八百と
銀八十八匁と
銀二百六十匁と
六匁八分にて
▲百は十百裏は千百
以銀銀銀八匁の
のちさ三匁と合て九匁
と又ちのちさ六匁八分
銀十百は
銀二百六十匁と
銀八十八匁と
銀二百六十匁と
銀八十八匁と
銀二百六十匁と
銀八十八匁と

そこれいなんの米千
人そこれいなん米る

万

金三ことめ帳そこ分ろし さんの用

▲帳そこ六八匁の買わさうだ十二匁の帳と十二匁の帳と
わろとの六匁八ハ八りそ　術云六八匁二帳のわ湯十二匁とうけ十二匁の十二乗そ
▲金一そこ六八匁の買わさうだ六十六匁の金と六十八匁二掛ハ帳そ何程二あるとの
六十匁三分二ハ　術云六八匁二小判のわ湯十六匁とうけて六十八匁二なるし
▲わ湯六十匁のの判を四一歩ゑとだ六十匁のの帳とうゑと何ハ何程ゆと
ゑ　ゑ銭八十文　術云小判のわ湯六十匁の三十二文とうけ七十六匁二下ゆとうゑと
帳のわ湯十六匁ゑそこ九ハ銭八十三文と成ゑ八十文の月帳ゑ引こ
▲わ湯十六匁の帳七銭六百文ゆ六十二匁の小判ゑ渡ゑ時ハ金何程とゆ　答六三歩
二朱と帳二匁七下ゆ　術云帳のわ湯十六匁二七銭六百文とうけて百六匁とうゑと
小判のわ湯六十二匁ゑ上一ゑと判ハ金ゑ四六十八匁と成ゆ二小判のわ湯六十二匁ゑ八二判ハ
二朱の代とゑとゑ七とうゑれゆ三歩二朱の代六十匁二下ゆゑと成ゑ何程ゆ
六十八匁の内ゑそ引ハ下ゆ　ゆゑ下ゆ

三反九畝六歩

▲ゑ六十匁三四平方とゆ六三百坪と
成ゑ　答ゑ三ゆ三歩ゑ引ハ六百
六十二坪と成ゑ　術云三ゆ三歩ゑ引ハ六百
六十二百坪の内ゑ引ハ六百六坪
三畝十六歩六分六りとうゑ

▲ゑ六百六十二坪ゑ六百六十二坪と
成ゑ　答ゑ六百六十二坪と成ゑ
六百六十二坪の内ゑ引ハ六百六坪
の法ゑ三ゆ三歩ゑ引ハ六十二歩八と成ゑ

▲ゑ八十六匁四ゑ五分ゑ合ゑ三十
八百坪と成ゑ　答ゑ三百八十八
七百八十坪と成ゑ　術云四の法ゑ三と成ゑ
三反九畝八歩とうゑ

▲ゑ八百六十匁ゑ五分ゑ合ゑ三十
八百坪と成ゑ　答ゑ四の法ゑ三ゆ
ゑれば八畝十六歩と成

▲ゑ六百二匁横十匁の面ゑ五反四畝ゑ
ゑ　答ゑ横の長ゑ八ゑ十匁ゑ
ゑ　術云横の長ゑ八ゑ十匁ゑ
ゑ　答ゑ三反八畝九歩七厘
切捨ゑ百二匁ゑ六ゑ
の法ゑ三ゆ三歩ゑ引ハ六十二歩八と成ゑ

▲ゑ八十六匁ゑ六ゑ
十二匁と成ゑれば百十二坪と成ゑ
ゑ　ゑ百六十坪ゑ面の法
ゑ三ゆ三歩ゑ引ハ六十二歩と成

▲ゑ六百二匁ゑ三ゆ三歩ゑ
ゑ　答ゑ六ゑ三ゆ三歩ゑ
ゑ　術云六ゑ三ゆ三歩ゑ
ゑ　答ゑ三ゆ三歩ゑ
ゑ　答ゑ三ゆ三歩ゑ
ゑ　答

又ないの留りひとそろへ切はい二反の畝ゆ三百ゆ
うのとく一留のひ十もゆ二の切ゆ二ろてはひ
ちゆ切ゆ米
もゆこのそこ米ゆ切ゆ九合二ゆけんちのかいろく比形
けんちうとくは角ゆこれるとをんゆをみこ

歩代之り

▲二反ゆ畝ゆとゆ歩ゆ二付歩代を石八歩
ゆるは石ゆ歩とゆ　右ハ二反ゆ畝ゆ二石八歩とゆ
▲八畝十ゆ歩ゆ歩ゆ二付一石八歩代をひゆるは何程とゆ　ゆる一石ゆ歩ゆ三米とゆ　右ハ八畝
十ゆ歩ゆと五十ゆ歩ゆと三割ハ八畝ゆと歩ゆ二石八歩とゆれい米石ゆ歩ゆ三米とゆゆ
▲ゆ前二反三畝ゆとひゆるゆ二石一歩ゆ米ゆ八歩代ゆ石代ゆわりとゆ　一石八歩代ゆ通れとゆ
右ゆるゆ二石一歩ゆ米とゆ町二反三畝ゆれい米石ゆ八歩とゆゆ

米ゆ方の割

▲ゆ米十五方ゆ右ハ歩ゆ歩ゆ米ゆ米八米ゆ　ゆすてひゆるゆ
歩ゆは何程ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ合ゆ二ゆ歩ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ
右ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米ゆ米

▲右二分の内の[illegible]
と云の合[illegible]
[illegible]
[illegible]

一又一反ニ付米何程ト云フ事ハ八月ニ成テ米ノ出来方ノ善悪ヲ見テ
引ハ物ニ付テ米ノ代ヲ定メ一合ニ付何程ト云フ事ハ米ノ出来方ニ
依テ也ト田方ハ何ノ年ニ成テ先ト知レ申ス事ハ出来ヲ見テ先ト定ル事ナリ

▲問 田ニ付テ何ト云ヒ方ニ成テ先ト申ス事ハ

答 田ニ付テ十三町六畝ノ年ニ大ニ成ケレ十ノ町ハ米ノ中ニ成ケレ 四町ハ米ノ中ニ成ケレ

右田ノ内 十三町六畝ノ年ニ大ニ成ケレ十ノ町ハ米ノ中ニ成ケレ 四町ハ米ノ中ニ成ケレ

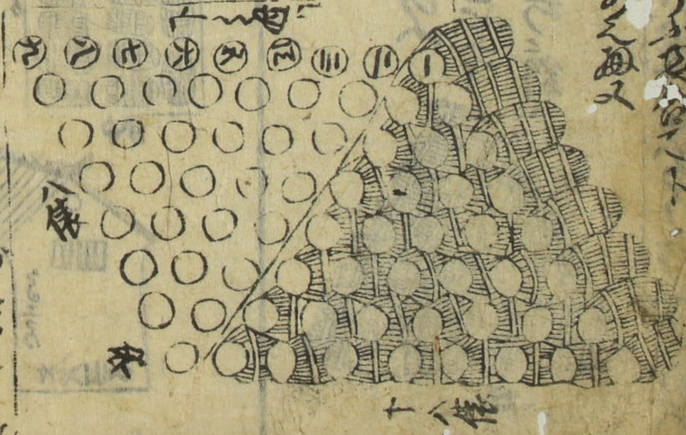
何ト云フ事ニシテ有リシテ先何程ト云フ事ハ米ノ出来方ニ依テ也 若シ六分ニ成ル

ト云ヒ方ニ成ル 右ハ大ニ成ケレ田ノ内ニ成ル方ニ成ケレ

ト云フ事ニ成ル中

四つのどの上方四方の角にて八俵三俵の角にまるうづのつぶ俵八俵
の俵と家と八俵と色にもつて二俵まるとの中八つ目にもつぶ俵又
二つ割の中八俵の俵とそれぞれ八俵の中二俵とあるこれ八
四方のつもりのもくもまるうづ八俵四方にまるう

▲俵枚多くの上の一俵
上の角のうの俵のうち
俵数何程
そとの
百の中の俵
あるとの



色八下九一俵と
かつ二俵とうれば
四百六十二俵と
なるあつ色又
うの俵八俵
くれば七十二俵
となるこれとも
四百六十二俵の内そこ八俵二百の中俵
わりとまとこれ八百の中又俵と
なるなり

俵まるうづの事

▲四百俵之内百六十俵あつ色とかの中百三十俵程そとの
八百八十石といふ　右八俵数二百四十俵とそれ百
▲八百八十石の内七百二十三俵づつ三角とあるうて俵程そとの
九百六十六俵と云　右八百六十六俵二百四十三俵
▲右三角のつぶ米と色米のかつ色米四十俵とつぶ
米七十二俵とつぶ米二十俵とつぶ米三十二俵のうつぶ米二十俵程とつぶ
四百七十八俵　七十六俵　右四百三十二俵二割それ二百四十七俵とな
▲つぶ色　三百三十七俵　七十六俵　右八百六十六俵　右三
十七俵六俵　三百七割それ二百四十八俵　米俵と家俵
して俵程二百六百俵　色と云　右八俵数二百四十八俵と家俵
右の八俵四方の角俵程の中とかを色米数と俵数とかけと出す米数とかるこ

此米別米米まるうづ并にうつの換法のうつ

▲俵米二百八十米あつ色と三百六十米あつ色と四百六十米あつ色

右に五寸あに長り合れに二百六十米とあり右に
目安りて右と割て

▲これと三尺七寸あるに長り合れに二百六十米とあり右に三尺あに長り合れ
二百六十米の代振行程ぞ　答十三尺四寸とあり
右に三尺あに長り合れに

右八七寸五分なり　なかだかれば四寸角

○四寸角の釣る木十分の代数十二寸五分へ又五寸角七寸五分の一本七分
五厘七毛四寸角れ四つ　代数十八分　代数の数十二寸五分とする
右代数をかけると五寸角の釣り木の代数十八分をかけ合て
数十八分をとれば六寸七五　六寸七五を五寸をかけて
くれば三〇八と成る　三〇八を因数にして左の六寸七五と割れば
○わつさ三分の板十枚代数八寸　八寸を三わつさ三分の板
三分板の方へ三分板の方へ木小ゝの代三十枚　代数
板代五枚代数八寸八分八厘八毛と成る　八寸八分
おゝ五寸五厘と五毛　三分をとれば三五と成る
毛と二寸八分とくるなり

長六尺六寸
ひのさ
ひのさ
代木代板とる人

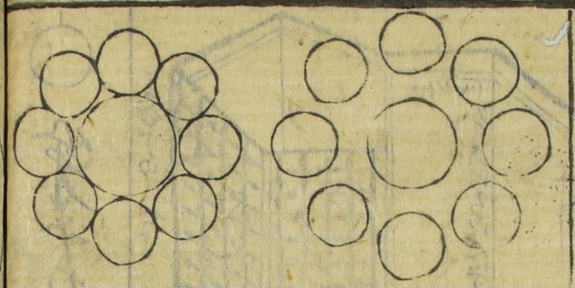
長六尺八寸
ひのさ
代代板十八枚　代分

代木ひのさ四代板の代板代板代板　板巾七分方
代木代板代板代板

○竹そ丈八寸の竹二本にて百五拾文代ならば
二本の竹の代ばかりてわかるとは　六文二分五厘代ばかりてわかるとは　右竹そ丈八寸あ二五分の代ばかりてわかるとは　右竹そ丈八寸あ二五分の代ばかりてわかるとは　右竹そ丈八寸あ二五分の

第十四　落うりの事

○右、三千文賣價百枚に付張十五づつ　三千枚の代銭百枚とする
二百六十文と云　右、三千枚に付十枚　百枚に付十枚づつ　張ごとく銭百枚に付　三千枚と云
右の張を百枚の代にすれば　五百枚の代にすれば　五百枚の代にすれば
○又張を百枚に付　五百枚の代にすれば　三千枚に付　三分二リ五毛となり
○三寸ゑく　三千枚に付　百寸ゑくふ　四ツ　右、三寸ゑくふ　四ツ　千六百八十枚　銭
右、三寸ゑくふ　四ツ　千六百八十枚　銭　百枚　銭　百枚　銭　百



○四寸高の元とれば

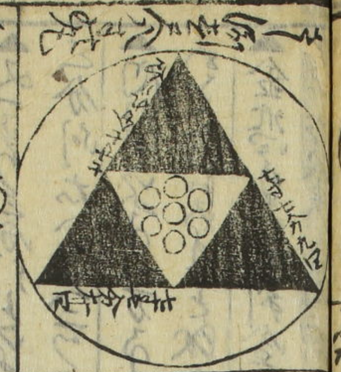
惡井筆記

大星二寸七り八毛
小星二寸五分一り三毛

とあり

今作

右のもう今の法はまづ星すくなくのつぎ数半を三五八七五まで
ひろめたる周平が右の二寸八分七毛
小星二寸三分九八七



▲月立ち方とまりれ長さ三尺の寸四尺二寸六分のこれうなりそもくなり時
面方三寸すくく伏りどへぞとの
谷寸すくくうなりもて八枚へとの

▲このごとくびしまりつりいろくの
とんとうとりとりて
もてにろこ
うとた中にたつかり
三角の面寸寸寸
星の花波こ
すみ

▲二十根高八寸の庚申行一りうの分りまして角の庚申行とと
印ト分りとの分六八一りと五毛と一分五り引ば八分五毛と二十根の五月ようろこ

金根高の求

面方三寸すくく伏りどへぞとの
谷寸すくくうなりもて八枚へとの
右の長さ三尺の寸三とこれが面方三尺八寸とあ毛と
毛とあこ五りけ六百三寸とあ毛行六千
毛十二六百二寸とあ毛と寸高の掛数四十六とへ別ば寸枚とあ毛二とろこ

▲この銀二百十枚を二て分ける時銀一分まりにて下銀何程ぞと問
丁銀二百八十匁なりと云　右の銀のみ問とは八匁とりてこれなり

▲丁銀二百八十匁を二分まりにてまわりに何程ぞと問
まわりて二百四十匁なりと云　右丁銀のみ問一分二とくんばまわりこれなり

▲まわり銀二百四十匁を二分にすれば丁銀何程ぞと問
丁銀二百八十匁なりと云　右まわりのみ問と一分二とくんばこれなり

▲四人の人とくんで問えども何程ぞと問
さるに問人ごとに花色七十二銭八三三三と成なるゆえ二つとなれば
銭八となれば右二分二つより三六八一六六となるこれとりけて半ば

▲又一日に三分引とする時八一と成これを二三三に引なおす右の三三と成る又一つと成る也とこれを
三分引右二分二つよりてそれとなりけてやるべ

▲四人とくんで人方のこわりた義を出さいの銀十匁を二
めとれいかんとあるこれいかんより出そいなくてまずんよあなり

▲金銀ともに時銭金のお湯銀百四十匁なるをもて出金一銀何程と問銀百八十匁なり
右金銀ともに時銭金のお湯銀百四十匁なるをもて出銭銀何程と問

▲銀二百八十匁を時銭金のお湯銀何程と問
銭金一匁を歩二朱と銀二匁と小判八匁余
まず銭八分の匁を銀に成なるゆえ八匁と成る一分の八匁と成る又分なるゆえ
これを銭一分二朱の二倍成の二朱小判さるゆえ十六匁八銀なるべし

▲金四十匁を七て五四　此二匁を七て五四　此八匁を七て五四

▲銀二百八十匁を時銭金のさるゆえ何程ぞと問　金二匁を銀何程ぞと問
銭金一匁を歩二朱と銀二匁と小判八匁余
まず銭八分の匁を銀に成なるゆえ八匁と成る一分の八匁と成る又分なるゆえ
これを銭一分二朱の二倍成の二朱小判さるゆえ十六匁八銀なるべし

▲金四十匁を七て五四　此二匁を七て五四　此八匁を七て五四

利金を引　はじめ五分の利の利金二朱二分引しとは利金何程と問
利金幾ばかりとの　右は年五分の利にて元利合何程と問
七十二リと二十四朱これを五分の利にて元金の問答なり五分の利にて元利合二百
三匁八分と成元と利金の問答なり

借銀利息の事

▲銀を貸す百匁と三ヶ月の利を加へ利息何程と問　利二百匁とは
右は借銀のるゐ二ヶ月ともなるなり
▲利銀二百匁を三ヶ月にて借りたる何程と問　元を貸す百匁とは
右は二百匁と三ヶ月でするなり
▲銀を貸す百匁二ヶ月にて元利を何程と問　元利を貸す八百匁と云
右は二ヶ月と元を引て二と成は借銀のるゐなり
▲銀元利合を貸す八百匁を二割にて借りたるとは
を貸す百匁と云　右は元利を貸す八百匁と三と成るべし　又利ばかりを
ならぬと成は右の仕様にて元銀と利とをいつれも二ヶ月とするなり

▲元銀を貸す百匁　借利二百匁を二ヶ月にて借りたるとは　これは何ヶ月にてなりとは
二ヶ月とあらはるとは　右は利と元とにて二ヶ月なり
▲銀弐貫文百匁一ヶ月分の利にて借年の内利二朱と何程と問　元利を三何程に
成べし　貫八百匁を年の内利二朱と云　右は二ヶ月八分一リと二ツ八分
二八と元銀に成べしとなり
▲銀二ヶ月にて元利合三貫七百匁銀弐貫文に成は何分の利にて
あるとは元利合の元銀何程ぞと問　元を貸す百匁と又　右は元二ヶ月と五
ツ八分二朱と元と成べし　元と同安ヶ月にて元を貸す百
三十匁ばかりと利ばかりを　又元利合銀と元と同じ様
▲銀元利合年の内合三百六十匁三ヶ月にて元を
借利　を引ハ三ヶ月　二年めハ二ヶ月　今年ハ一ヶ月
去年ハ三ヶ月
借元銀何程と問　百六十匁と又　右は元銀と元十二ヶ月とそれと十二ヶ月
それと十二ヶ月　ヶ月それと十二ヶ月なり
▲元銀六百匁月に二分の利にて三年借りたる内の二月より一年四ヶ月借りたる

六月まで減ずる時は行れ三伺程なる故と為て二年間一回月わり
六百三十七となる下に成とい　右の通り二分を減ずれば
二とり残れば十六なる下と成る二ん水と云る
それ初どを二分とり二年めの月数十三とり
六百なる下に成り三分の二これ初どを二分とり
七百六十六なる下に成これを六百六十六合六百三十六
下に成

万年つもりけす

今年の法六百八十七。四角なる物二年かつの時は長さ一尺かつの時は長さ一尺
六寸の方とりてもつもりこれを数ひろ六とあり

古年の法六百八十六

。四角なる物の長さ一尺ひろさ三分とりてもつもりこれを数ひろ
山法とりてもこれを数ひろ

又同法に成時は六とりけても年数ひろ
右今年の法六百八十七とり六百年の四つ分
あとよりけ合それ法二寸七分とりてれば六百八十六

巻図

今年　古年　二尺三寸七分八合余　八とり

右これなん長さ一尺八寸ひろさ一尺八寸の四角なる物
長さ三尺八寸ひろさ一尺八寸の分とり
これを今年の法六百八十七と云
又古年三つもり時は六の一三六一三六七と法六百八十六
又右の法一三六一三六七と法六百八十六とり
又右の法一三六一三六七と法六百八十六とり
又右の法一三六一三六七と法六百八十六とり
但古年は廣ひろ寸七分法二寸七分
長さ三尺八寸ひろ一尺八寸七分
今年　古年　二尺三寸七分八合余　八とり

長さ三尺八寸ひろ一尺八寸七分の分の巻図

右これなん長さ一尺八寸ひろさ一尺八寸七分の分の巻図
長さ三尺八寸ひろ一尺八寸七分の分の巻図
これを今年の法六百八十七と云
又古年三つもり時は六の一三六一三六七と法六百八十六
又右の法一三六一三六七と法六百八十六とり
又右の法一三六一三六七と法六百八十六とり
又右の法一三六一三六七と法六百八十六とり
但古年は廣ひろ寸七分法二寸七分
長さ三尺八寸ひろ一尺八寸七分
今年　古年　二尺三寸七分八合余　八とり

巻図

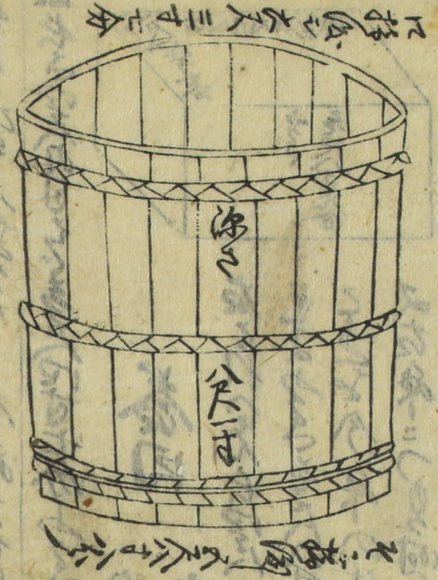
丸げおりてひつ　長さ三尺八寸ひろ一尺八寸七分

長さ三尺八寸ひろ一尺八寸七分の巻図
長さ三尺八寸ひろ一尺八寸七分の巻図
右の巻図を合それを四角の法二寸とり五べ二〇一六八〇と成
右の巻図の法二寸とり五べ二〇一六八〇と成
今年の法とんテ五時八まと数ひろ

丸桶

七合の又入

さて又寸法の内そこの寸法に乗ける合それを
くくさ三寸七分とかけ又高法に乗ける
今年の法六尺八二七とかけ別八七合九夕と知
べし



桶と今年で何程入そと問

答ふ三寸七百五十一合八とする

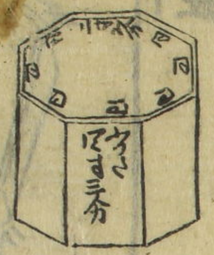
有べき口六人三寸七分に底こそ八寸八分これ
は数三より七百五十五分と成るに乗又は
さしまさしの内そこのさしまさしかどりは
寸の分数とこれとを乗ける合六百一十五
もと深流の法をとれば八〇三三三三
とも成て是右のごとく坪数と乗合さそ
さるのまさに乗ける坪数とする
法とかそれハ坪数なり

三角そとなし

問ふ三寸三合八

又三角の法に三とかけそ深流の法三とかけ
たのみをとるのにわるひは角九六角八角でも皆
そ法とかけ坪三乗ける坪三乗ける坪三乗ける
別べわるべ

八角



答ふ

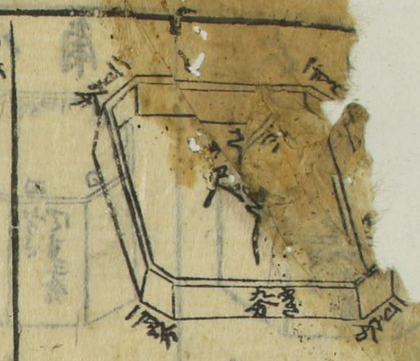
口弐尺八寸五分に乗ける合
それよりくくさ三尺八寸四分とかけ
深流の法三とかけそ深流の法三とかけ
別坪数四坪三寸三合八とする

面一方の二寸八分とかけ又八角の法に八二八とかけ
別八二七とハ別坪数四坪三寸三合八とする

六

武本六合九夕三才一八

面一方の寸と成る乗ける合
一六と成これよりくくさ四寸三分
又九八とかけ一七四又八六と成そ六角の法二又九八とかけ一七四
八二七とハ別八二本六合九夕三才一八とする



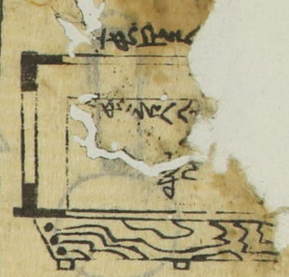
壺

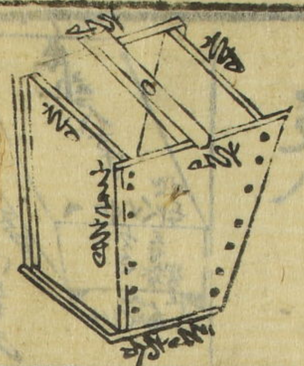
四斗弐升入

○これハ上長八寸七分下七寸三分ありこれハ体百〇八四方ハ上ハ四下ハ四ツ〇ハ上ハ四下ハ四ツ〇ハ上ハ四下ハ四ツ〇

○渋流石垣米積り　ひ[illegible]

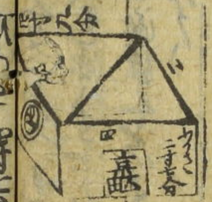
[illegible]





○第十九　京米の寸法

京米　壱[illegible]　[illegible]



一合　[illegible]

合																							
九合	八合	七合	六合	五合	四合	三合	二合	一合	三年	四年	五年	六年	七年

一分	一尺二寸三分七厘九毛	一尺八寸〇五厘七毛九寸九分四厘七毛	二尺八寸六分九厘五毛	二尺八寸分九厘三毛一尺六寸七分九厘七毛	二尺八寸〇五厘二毛二尺一寸六分一厘	二尺八寸〇五厘六毛二尺六寸〇六分四厘六毛	二尺八寸〇五厘六毛二尺六寸〇六分四厘六毛	二尺八寸〇五厘六毛二尺六寸〇六分四厘六毛
九木	三寸	六寸	九寸	一石二寸	一石五寸	一石八寸	二石一寸	二石四寸
一尺〇寸三分四厘六寸六分一厘六毛二	一尺〇寸三分四厘八寸三分八厘九毛五	一尺〇寸三分四厘一尺〇寸六分七厘一	一尺〇寸三分四厘一尺二寸一分	一尺〇寸三分四厘一尺八寸〇七厘七	一尺〇寸三分四厘二尺〇寸八分〇二厘二	一尺〇寸三分四厘二尺三寸六分〇一厘八	一尺〇寸三分四厘二尺六寸〇六分四厘六毛	一尺〇寸三分四厘二尺八寸〇七厘九毛二
三寸	四寸	五寸	六寸	七寸	八寸	九寸	十寸	百石
一尺〇寸六分六厘六毛	一尺〇寸六分六厘八寸三分三厘四毛	一尺〇寸六分六厘一尺〇寸六分七厘一毛	一尺〇寸六分六厘一尺二寸一分	一尺〇寸六分六厘一尺八寸〇七厘七毛	一尺〇寸六分六厘二尺〇寸八分〇二厘二	一尺〇寸六分六厘二尺三寸六分〇一厘八	一尺〇寸六分六厘二尺六寸〇六分四厘六毛	一尺〇寸六分六厘二尺八寸〇七厘九毛二
一尺〇寸六分六厘一尺六寸七分九厘七毛二	一尺〇寸六分六厘一尺八寸三分八厘九毛五	一尺〇寸六分六厘一尺〇寸六分七厘一毛	一尺〇寸六分六厘一尺二寸一分	一尺〇寸六分六厘一尺八寸〇七厘七毛	一尺〇寸六分六厘二尺〇寸八分〇二厘二	一尺〇寸六分六厘二尺三寸六分〇一厘八	一尺〇寸六分六厘二尺六寸〇六分四厘六毛	一尺〇寸六分六厘二尺八寸〇七厘九毛二
一尺〇寸六分六厘一尺六寸七分九厘七毛二	一尺〇寸六分六厘一尺八寸三分八厘九毛五	一尺〇寸六分六厘一尺〇寸六分七厘一毛	一尺〇寸六分六厘一尺二寸一分	一尺〇寸六分六厘一尺八寸〇七厘七毛	一尺〇寸六分六厘二尺〇寸八分〇二厘二	一尺〇寸六分六厘二尺三寸六分〇一厘八	一尺〇寸六分六厘二尺六寸〇六分四厘六毛	一尺〇寸六分六厘二尺八寸〇七厘九毛二

○算法 掛投京桝

一合	二合	三合	四合	五合	六合	七合	八合	九合
指渡二寸九厘七毛八寸八分六厘四毛七	二寸六分四厘九毛二寸九分六厘四毛七	二寸六分四厘九毛二寸九分六厘四毛七	二寸六分四厘九毛二寸九分六厘四毛七	二寸六分四厘九毛二寸九分六厘四毛七	二寸六分四厘九毛二寸九分六厘四毛七	二寸六分四厘九毛二寸九分六厘四毛七	二寸六分四厘九毛二寸九分六厘四毛七	二寸六分四厘九毛二寸九分六厘四毛七
一合	二合	三合	四合	五合	六合	七合	八合	九合
三寸三分三厘二寸九分六厘	三寸六分六厘三寸二分八厘六毛	三寸六分六厘三寸二分八厘六毛	三寸六分六厘三寸二分八厘六毛	三寸六分六厘三寸二分八厘六毛	三寸六分六厘三寸二分八厘六毛	三寸六分六厘三寸二分八厘六毛	三寸六分六厘三寸二分八厘六毛	三寸六分六厘三寸二分八厘六毛
一合	二合	三合	四合	五合	六合	七合	八合	九合
四寸一厘二毛九	四寸二分六厘	四寸二分六厘	四寸二分六厘	四寸二分六厘	四寸二分六厘	四寸二分六厘	四寸二分六厘	四寸二分六厘
一合	二合	三合	四合	五合	六合	七合	八合	九合
四寸六分九厘五毛四寸一厘七毛三	四寸六分九厘五毛四寸六分一厘七毛	四寸六分九厘五毛四寸六分一厘七毛	四寸六分九厘五毛四寸六分一厘七毛	四寸六分九厘五毛四寸六分一厘七毛	四寸六分九厘五毛四寸六分一厘七毛	四寸六分九厘五毛四寸六分一厘七毛	四寸六分九厘五毛四寸六分一厘七毛	四寸六分九厘五毛四寸六分一厘七毛
一合	二合	三合	四合	五合	六合	七合	八合	九合
五寸一分七厘四毛三六寸三分七厘七毛一	五寸一分七厘八毛七七寸八分七厘二毛七	五寸一分七厘八毛七七寸八分七厘二毛七	五寸一分七厘八毛七七寸八分七厘二毛七	五寸一分七厘八毛七七寸八分七厘二毛七	五寸一分七厘八毛七七寸八分七厘二毛七	五寸一分七厘八毛七七寸八分七厘二毛七	五寸一分七厘八毛七七寸八分七厘二毛七	五寸一分七厘八毛七七寸八分七厘二毛七
一合	二合	三合	四合	五合	六合	七合	八合	九合
八寸六分四厘九毛三九寸三分六厘	八寸六分四厘九毛三九寸三分六厘	八寸六分四厘九毛三九寸三分六厘	八寸六分四厘九毛三九寸三分六厘	八寸六分四厘九毛三九寸三分六厘	八寸六分四厘九毛三九寸三分六厘	八寸六分四厘九毛三九寸三分六厘	八寸六分四厘九毛三九寸三分六厘	八寸六分四厘九毛三九寸三分六厘
一合	二合	三合	四合	五合	六合	七合	八合	九合
九寸三分七厘九毛八寸三分四厘八	九寸三分七厘九毛八寸三分四厘八	九寸三分七厘九毛八寸三分四厘八	九寸三分七厘九毛八寸三分四厘八	九寸三分七厘九毛八寸三分四厘八	九寸三分七厘九毛八寸三分四厘八	九寸三分七厘九毛八寸三分四厘八	九寸三分七厘九毛八寸三分四厘八	九寸三分七厘九毛八寸三分四厘八
一合	二合	三合	四合	五合	六合	七合	八合	九合
十寸一分七厘二毛二十寸六分八厘三	十寸一分七厘二毛二十寸六分八厘三	十寸一分七厘二毛二十寸六分八厘三	十寸一分七厘二毛二十寸六分八厘三	十寸一分七厘二毛二十寸六分八厘三	十寸一分七厘二毛二十寸六分八厘三	十寸一分七厘二毛二十寸六分八厘三	十寸一分七厘二毛二十寸六分八厘三	十寸一分七厘二毛二十寸六分八厘三
一合	二合	三合	四合	五合	六合	七合	八合	九合
十一寸六分〇八毛六寸四分四厘七毛二寸六分七厘九毛二	十一寸六分〇八毛六寸四分四厘七毛二寸六分七厘九毛二	十一寸六分〇八毛六寸四分四厘七毛二寸六分七厘九毛二	十一寸六分〇八毛六寸四分四厘七毛二寸六分七厘九毛二	十一寸六分〇八毛六寸四分四厘七毛二寸六分七厘九毛二	十一寸六分〇八毛六寸四分四厘七毛二寸六分七厘九毛二	十一寸六分〇八毛六寸四分四厘七毛二寸六分七厘九毛二	十一寸六分〇八毛六寸四分四厘七毛二寸六分七厘九毛二	十一寸六分〇八毛六寸四分四厘七毛二寸六分七厘九毛二

二寸八分八厘二毛
一厘七毛
〇二寸

平掛 横平二大掛

○第廿二　大つゝり　并二大福

年	月	日
一年	正月	一日
一年	正月	二日
一年	正月	三日
一年	正月	四日
一年	正月	五日
一年	正月	六日
一年	正月	七日
一年	正月	八日
一年	正月	九日
一年	正月	十日
一年	正月	十一日
一年	正月	十二日
一年	正月	十三日
一年	正月	十四日
一年	正月	十五日
一年	正月	十六日
一年	正月	十七日
一年	正月	十八日
一年	正月	十九日
一年	正月	廿日
一年	正月	廿一日
一年	正月	廿二日
一年	正月	廿三日
一年	正月	廿四日
一年	正月	廿五日
一年	正月	廿六日
一年	正月	廿七日
一年	正月	廿八日
一年	正月	廿九日
一年	正月	卅日
一年	二月	一日
一年	二月	二日
一年	二月	三日
一年	二月	四日
一年	二月	五日
一年	二月	六日
一年	二月	七日
一年	二月	八日
一年	二月	九日
一年	二月	十日
一年	二月	十一日
一年	二月	十二日
一年	二月	十三日
一年	二月	十四日
一年	二月	十五日
一年	二月	十六日
一年	二月	十七日
一年	二月	十八日
一年	二月	十九日
一年	二月	廿日
一年	二月	廿一日
一年	二月	廿二日
一年	二月	廿三日
一年	二月	廿四日
一年	二月	廿五日
一年	二月	廿六日
一年	二月	廿七日
一年	二月	廿八日
一年	二月	廿九日
一年	二月	卅日
一年	三月	一日
一年	三月	二日
一年	三月	三日
一年	三月	四日
一年	三月	五日
一年	三月	六日
一年	三月	七日
一年	三月	八日
一年	三月	九日
一年	三月	十日
一年	三月	十一日
一年	三月	十二日
一年	三月	十三日
一年	三月	十四日
一年	三月	十五日
一年	三月	十六日
一年	三月	十七日
一年	三月	十八日
一年	三月	十九日
一年	三月	廿日
一年	三月	廿一日
一年	三月	廿二日
一年	三月	廿三日
一年	三月	廿四日
一年	三月	廿五日
一年	三月	廿六日
一年	三月	廿七日
一年	三月	廿八日
一年	三月	廿九日
一年	三月	卅日
一年	四月	一日
一年	四月	二日
一年	四月	三日
一年	四月	四日
一年	四月	五日
一年	四月	六日
一年	四月	七日
一年	四月	八日
一年	四月	九日
一年	四月	十日
一年	四月	十一日
一年	四月	十二日
一年	四月	十三日
一年	四月	十四日
一年	四月	十五日
一年	四月	十六日
一年	四月	十七日
一年	四月	十八日
一年	四月	十九日
一年	四月	廿日
一年	四月	廿一日
一年	四月	廿二日
一年	四月	廿三日
一年	四月	廿四日
一年	四月	廿五日
一年	四月	廿六日
一年	四月	廿七日
一年	四月	廿八日
一年	四月	廿九日
一年	四月	卅日
一年	五月	一日
一年	五月	二日
一年	五月	三日
一年	五月	四日
一年	五月	五日
一年	五月	六日
一年	五月	七日
一年	五月	八日
一年	五月	九日
一年	五月	十日
一年	五月	十一日
一年	五月	十二日
一年	五月	十三日
一年	五月	十四日
一年	五月	十五日
一年	五月	十六日
一年	五月	十七日
一年	五月	十八日
一年	五月	十九日
一年	五月	廿日
一年	五月	廿一日
一年	五月	廿二日
一年	五月	廿三日
一年	五月	廿四日
一年	五月	廿五日
一年	五月	廿六日
一年	五月	廿七日
一年	五月	廿八日
一年	五月	廿九日
一年	五月	卅日
一年	六月	一日
一年	六月	二日
一年	六月	三日
一年	六月	四日
一年	六月	五日
一年	六月	六日
一年	六月	七日
一年	六月	八日
一年	六月	九日
一年	六月	十日
一年	六月	十一日
一年	六月	十二日
一年	六月	十三日
一年	六月	十四日
一年	六月	十五日
一年	六月	十六日
一年	六月	十七日
一年	六月	十八日
一年	六月	十九日
一年	六月	廿日
一年	六月	廿一日
一年	六月	廿二日
一年	六月	廿三日
一年	六月	廿四日
一年	六月	廿五日
一年	六月	廿六日
一年	六月	廿七日
一年	六月	廿八日
一年	六月	廿九日
一年	六月	卅日
一年	七月	一日
一年	七月	二日
一年	七月	三日
一年	七月	四日
一年	七月	五日
一年	七月	六日
一年	七月	七日
一年	七月	八日
一年	七月	九日
一年	七月	十日
一年	七月	十一日
一年	七月	十二日
一年	七月	十三日
一年	七月	十四日
一年	七月	十五日
一年	七月	十六日
一年	七月	十七日
一年	七月	十八日
一年	七月	十九日
一年	七月	廿日
一年	七月	廿一日
一年	七月	廿二日
一年	七月	廿三日
一年	七月	廿四日
一年	七月	廿五日
一年	七月	廿六日
一年	七月	廿七日
一年	七月	廿八日
一年	七月	廿九日
一年	七月	卅日
一年	八月	一日
一年	八月	二日
一年	八月	三日
一年	八月	四日
一年	八月	五日
一年	八月	六日
一年	八月	七日
一年	八月	八日
一年	八月	九日
一年	八月	十日
一年	八月	十一日
一年	八月	十二日
一年	八月	十三日
一年	八月	十四日
一年	八月	十五日
一年	八月	十六日
一年	八月	十七日
一年	八月	十八日
一年	八月	十九日
一年	八月	廿日
一年	八月	廿一日
一年	八月	廿二日
一年	八月	廿三日
一年	八月	廿四日
一年	八月	廿五日
一年	八月	廿六日
一年	八月	廿七日
一年	八月	廿八日
一年	八月	廿九日
一年	八月	卅日
一年	九月	一日
一年	九月	二日
一年	九月	三日
一年	九月	四日
一年	九月	五日
一年	九月	六日
一年	九月	七日
一年	九月	八日
一年	九月	九日
一年	九月	十日
一年	九月	十一日
一年	九月	十二日
一年	九月	十三日
一年	九月	十四日
一年	九月	十五日
一年	九月	十六日
一年	九月	十七日
一年	九月	十八日
一年	九月	十九日
一年	九月	廿日
一年	九月	廿一日
一年	九月	廿二日
一年	九月	廿三日
一年	九月	廿四日
一年	九月	廿五日
一年	九月	廿六日
一年	九月	廿七日
一年	九月	廿八日
一年	九月	廿九日
一年	九月	卅日
一年	十月	一日
一年	十月	二日
一年	十月	三日
一年	十月	四日
一年	十月	五日
一年	十月	六日
一年	十月	七日
一年	十月	八日
一年	十月	九日
一年	十月	十日
一年	十月	十一日
一年	十月	十二日
一年	十月	十三日
一年	十月	十四日
一年	十月	十五日
一年	十月	十六日
一年	十月	十七日
一年	十月	十八日
一年	十月	十九日
一年	十月	廿日
一年	十月	廿一日
一年	十月	廿二日
一年	十月	廿三日
一年	十月	廿四日
一年	十月	廿五日
一年	十月	廿六日
一年	十月	廿七日
一年	十月	廿八日
一年	十月	廿九日
一年	十月	卅日
一年	十一月	一日
一年	十一月	二日
一年	十一月	三日
一年	十一月	四日
一年	十一月	五日
一年	十一月	六日
一年	十一月	七日
一年	十一月	八日
一年	十一月	九日
一年	十一月	十日
一年	十一月	十一日
一年	十一月	十二日
一年	十一月	十三日
一年	十一月	十四日
一年	十一月	十五日
一年	十一月	十六日
一年	十一月	十七日
一年	十一月	十八日
一年	十一月	十九日
一年	十一月	廿日
一年	十一月	廿一日
一年	十一月	廿二日
一年	十一月	廿三日
一年	十一月	廿四日
一年	十一月	廿五日
一年	十一月	廿六日
一年	十一月	廿七日
一年	十一月	廿八日
一年	十一月	廿九日
一年	十一月	卅日
一年	十二月	一日
一年	十二月	二日
一年	十二月	三日
一年	十二月	四日
一年	十二月	五日
一年	十二月	六日
一年	十二月	七日
一年	十二月	八日
一年	十二月	九日
一年	十二月	十日
一年	十二月	十一日
一年	十二月	十二日
一年	十二月	十三日
一年	十二月	十四日
一年	十二月	十五日
一年	十二月	十六日
一年	十二月	十七日
一年	十二月	十八日
一年	十二月	十九日
一年	十二月	廿日
一年	十二月	廿一日
一年	十二月	廿二日
一年	十二月	廿三日
一年	十二月	廿四日
一年	十二月	廿五日
一年	十二月	廿六日
一年	十二月	廿七日
一年	十二月	廿八日
一年	十二月	廿九日
一年	十二月	卅日

○第廿三　小つゝり

年	月	日
一年	正月	一日
一年	正月	二日
一年	正月	三日
一年	正月	四日
一年	正月	五日
一年	正月	六日
一年	正月	七日
一年	正月	八日
一年	正月	九日
一年	正月	十日
一年	正月	十一日
一年	正月	十二日
一年	正月	十三日
一年	正月	十四日
一年	正月	十五日
一年	正月	十六日
一年	正月	十七日
一年	正月	十八日
一年	正月	十九日
一年	正月	廿日
一年	正月	廿一日
一年	正月	廿二日
一年	正月	廿三日
一年	正月	廿四日
一年	正月	廿五日
一年	正月	廿六日
一年	正月	廿七日
一年	正月	廿八日
一年	正月	廿九日
一年	正月	卅日
一年	二月	一日
一年	二月	二日
一年	二月	三日
一年	二月	四日
一年	二月	五日
一年	二月	六日
一年	二月	七日
一年	二月	八日
一年	二月	九日
一年	二月	十日
一年	二月	十一日
一年	二月	十二日
一年	二月	十三日
一年	二月	十四日
一年	二月	十五日
一年	二月	十六日
一年	二月	十七日
一年	二月	十八日
一年	二月	十九日
一年	二月	廿日
一年	二月	廿一日
一年	二月	廿二日
一年	二月	廿三日
一年	二月	廿四日
一年	二月	廿五日
一年	二月	廿六日
一年	二月	廿七日
一年	二月	廿八日
一年	二月	廿九日
一年	二月	卅日
一年	三月	一日
一年	三月	二日
一年	三月	三日
一年	三月	四日
一年	三月	五日
一年	三月	六日
一年	三月	七日
一年	三月	八日
一年	三月	九日
一年	三月	十日
一年	三月	十一日
一年	三月	十二日
一年	三月	十三日
一年	三月	十四日
一年	三月	十五日
一年	三月	十六日
一年	三月	十七日
一年	三月	十八日
一年	三月	十九日
一年	三月	廿日
一年	三月	廿一日
一年	三月	廿二日
一年	三月	廿三日
一年	三月	廿四日
一年	三月	廿五日
一年	三月	廿六日
一年	三月	廿七日
一年	三月	廿八日
一年	三月	廿九日
一年	三月	卅日
一年	四月	一日
一年	四月	二日
一年	四月	三日
一年	四月	四日
一年	四月	五日
一年	四月	六日
一年	四月	七日
一年	四月	八日
一年	四月	九日
一年	四月	十日
一年	四月	十一日
一年	四月	十二日
一年	四月	十三日
一年	四月	十四日
一年	四月	十五日
一年	四月	十六日
一年	四月	十七日
一年	四月	十八日
一年	四月	十九日
一年	四月	廿日
一年	四月	廿一日
一年	四月	廿二日
一年	四月	廿三日
一年	四月	廿四日
一年	四月	廿五日
一年	四月	廿六日
一年	四月	廿七日
一年	四月	廿八日
一年	四月	廿九日
一年	四月	卅日
一年	五月	一日
一年	五月	二日
一年	五月	三日
一年	五月	四日
一年	五月	五日
一年	五月	六日
一年	五月	七日
一年	五月	八日
一年	五月	九日
一年	五月	十日
一年	五月	十一日
一年	五月	十二日
一年	五月	十三日
一年	五月	十四日
一年	五月	十五日
一年	五月	十六日
一年	五月	十七日
一年	五月	十八日
一年	五月	十九日
一年	五月	廿日
一年	五月	廿一日
一年	五月	廿二日
一年	五月	廿三日
一年	五月	廿四日
一年	五月	廿五日
一年	五月	廿六日
一年	五月	廿七日
一年	五月	廿八日
一年	五月	廿九日
一年	五月	卅日
一年	六月	一日
一年	六月	二日
一年	六月	三日
一年	六月	四日
一年	六月	五日
一年	六月	六日
一年	六月	七日
一年	六月	八日
一年	六月	九日
一年	六月	十日
一年	六月	十一日
一年	六月	十二日
一年	六月	十三日
一年	六月	十四日
一年	六月	十五日
一年	六月	十六日
一年	六月	十七日
一年	六月	十八日
一年	六月	十九日
一年	六月	廿日
一年	六月	廿一日
一年	六月	廿二日
一年	六月	廿三日
一年	六月	廿四日
一年	六月	廿五日
一年	六月	廿六日
一年	六月	廿七日
一年	六月	廿八日
一年	六月	廿九日
一年	六月	卅日
一年	七月	一日
一年	七月	二日
一年	七月	三日
一年	七月	四日
一年	七月	五日
一年	七月	六日
一年	七月	七日
一年	七月	八日
一年	七月	九日
一年	七月	十日
一年	七月	十一日
一年	七月	十二日
一年	七月	十三日
一年	七月	十四日
一年	七月	十五日
一年	七月	十六日
一年	七月	十七日
一年	七月	十八日
一年	七月	十九日
一年	七月	廿日
一年	七月	廿一日
一年	七月	廿二日
一年	七月	廿三日
一年	七月	廿四日
一年	七月	廿五日
一年	七月	廿六日
一年	七月	廿七日
一年	七月	廿八日
一年	七月	廿九日
一年	七月	卅日
一年	八月	一日
一年	八月	二日
一年	八月	三日
一年	八月	四日
一年	八月	五日
一年	八月	六日
一年	八月	七日
一年	八月	八日
一年	八月	九日
一年	八月	十日
一年	八月	十一日
一年	八月	十二日
一年	八月	十三日
一年	八月	十四日
一年	八月	十五日
一年	八月	十六日
一年	八月	十七日
一年	八月	十八日
一年	八月	十九日
一年	八月	廿日
一年	八月	廿一日
一年	八月	廿二日
一年	八月	廿三日
一年	八月	廿四日
一年	八月	廿五日
一年	八月	廿六日
一年	八月	廿七日
一年	八月	廿八日
一年	八月	廿九日
一年	八月	卅日
一年	九月	一日
一年	九月	二日
一年	九月	三日
一年	九月	四日
一年	九月	五日
一年	九月	六日
一年	九月	七日
一年	九月	八日
一年	九月	九日
一年	九月	十日
一年	九月	十一日
一年	九月	十二日
一年	九月	十三日
一年	九月	十四日
一年	九月	十五日
一年	九月	十六日
一年	九月	十七日
一年	九月	十八日
一年	九月	十九日
一年	九月	廿日
一年	九月	廿一日
一年	九月	廿二日
一年	九月	廿三日
一年	九月	廿四日
一年	九月	廿五日
一年	九月	廿六日
一年	九月	廿七日
一年	九月	廿八日
一年	九月	廿九日
一年	九月	卅日
一年	十月	一日
一年	十月	二日
一年	十月	三日
一年	十月	四日
一年	十月	五日
一年	十月	六日
一年	十月	七日
一年	十月	八日
一年	十月	九日
一年	十月	十日
一年	十月	十一日
一年	十月	十二日
一年	十月	十三日
一年	十月	十四日
一年	十月	十五日
一年	十月	十六日
一年	十月	十七日
一年	十月	十八日
一年	十月	十九日
一年	十月	廿日
一年	十月	廿一日
一年	十月	廿二日
一年	十月	廿三日
一年	十月	廿四日
一年	十月	廿五日
一年	十月	廿六日
一年	十月	廿七日
一年	十月	廿八日
一年	十月	廿九日
一年	十月	卅日
一年	十一月	一日
一年	十一月	二日
一年	十一月	三日
一年	十一月	四日
一年	十一月	五日
一年	十一月	六日
一年	十一月	七日
一年	十一月	八日
一年	十一月	九日
一年	十一月	十日
一年	十一月	十一日
一年	十一月	十二日
一年	十一月	十三日
一年	十一月	十四日
一年	十一月	十五日
一年	十一月	十六日
一年	十一月	十七日
一年	十一月	十八日
一年	十一月	十九日
一年	十一月	廿日
一年	十一月	廿一日
一年	十一月	廿二日
一年	十一月	廿三日
一年	十一月	廿四日
一年	十一月	廿五日
一年	十一月	廿六日
一年	十一月	廿七日
一年	十一月	廿八日
一年	十一月	廿九日
一年	十一月	卅日
一年	十二月	一日
一年	十二月	二日
一年	十二月	三日
一年	十二月	四日
一年	十二月	五日
一年	十二月	六日
一年	十二月	七日
一年	十二月	八日
一年	十二月	九日
一年	十二月	十日
一年	十二月	十一日
一年	十二月	十二日
一年	十二月	十三日
一年	十二月	十四日
一年	十二月	十五日
一年	十二月	十六日
一年	十二月	十七日
一年	十二月	十八日
一年	十二月	十九日
一年	十二月	廿日
一年	十二月	廿一日
一年	十二月	廿二日
一年	十二月	廿三日
一年	十二月	廿四日
一年	十二月	廿五日
一年	十二月	廿六日
一年	十二月	廿七日
一年	十二月	廿八日
一年	十二月	廿九日
一年	十二月	卅日

一石	二石	三石	四石	五石	六石	七石	八石	九石	十石
二尺三寸六分二厘七毛 七尺九寸八分一厘 一丈八寸六分四厘六毛	二尺六寸八分七厘五毛 二尺四寸九分六厘九毛 二尺三寸四分四厘二毛	二尺六寸八分七厘 二尺四寸九分六厘九毛 二尺三寸四分四厘二毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛

十一石	十二石	十三石	十四石	十五石
二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛	二尺六寸八分二厘 二尺四寸九分四厘六毛 二尺三寸四分二厘八毛

右稲。稻。掛。掛。はざまもじんかうもきの大若年の法有之と
いへども和漢ともとり〳〵あ
の作とり〳〵有也

上巻終

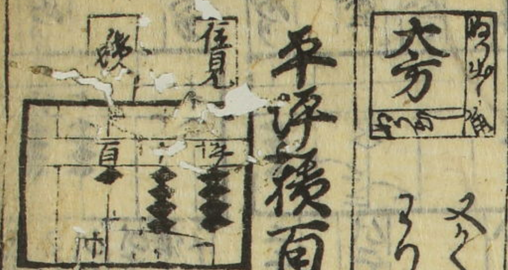
○第一　正矩術　周平法と法分

先信見　大方取

とハ洋数多方のことをもつて大方
ゆりどの方よりなるとハ為也
とハ洋の四大方の洋後て八一
おハ洋とハ大方ど信ことれ肩妻
ゆておハ洋先へ〳〵ゆるゆ

二方塗　南引

とハ大方とゆ〳〵ゆ
洋やうれんがり〳〵のとく二方ゆ
ん〳〵ゆ



又〳〵のごとく南不合四へ
ゆりのことと洋の四川とゆ
ゆ〳〵ゆ

平洋後百四拾四洋　光出南引て　十二方取

光ノ信乃さてとハとゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ十とゆ〳〵ゆ
てゆ十とゆ〳〵ゆ十ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ
ゆ〳〵ゆ十ゆ〳〵ゆ大方ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ

右横百四十位とるべし百浮ゆえ
ひ二十五ゆえ二百五十ひ百浮
ひ百ゆえ
ひ十五ゆえ五十ひ五浮
倍して十五ゆえ五十ひ五浮
トの百ゆえ

ゆり
大方
目安
金
横
正

三二ノ位を南三引そこへ
ひ二百九十五ゆえ二百ト浮ゆ
今見ハ百ひ

ゆり
目安
大方
横
正

横百四十位五浮位とる浮
ということ百の十と六分ゆえ十と六
ゆえ百浮ゆ五十位とる浮
ゆ七十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ

正矩術 右此意也

横十三方三百六十六浮ゆ 四方にして 三百六十六浮

ゆり
目安
大方
横
正

ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ

今見ハ百ひ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ

ゆり
目安
大方
横
正

ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ

今見ハ百ひ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ

ゆり
目安
大方
横
正

ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ

今見ハ百ひ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ

ゆり
目安
大方
横
正

ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ

今見ハ百ひ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ

ゆり
目安
大方
横
正

ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ
ゆ百ゆえ百浮ゆ
ゆ十ゆえ百浮ゆ

今見ハ百ひ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ
ひ百ゆえ百浮ゆ
ひ十ゆえ百浮ゆ

正矩塗立圖

ゆり
目安
大方
横
正

開方法之事

立翼術

とかくの位人てを面々位と二等にて
てを浮数りとの二浮て減じと位
と数の浮のと二川付之をもつて

大方取

とかくの大方の位をそなわるとみこうひんを
数のそのそ大方二をつけそれに位の割なる
をつけそれをもつけと浮数花割後
浮てひいをり

三角小角引

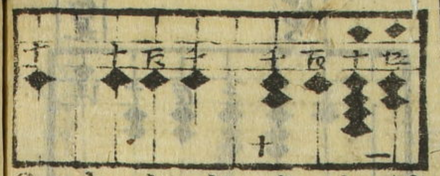
とかくの大方の位をそなわるとみこうひんを
数のそのそ大方二をつけそれに位の割なる
をつけそれをもつけと浮数花割後
浮てひいをり

三方塗

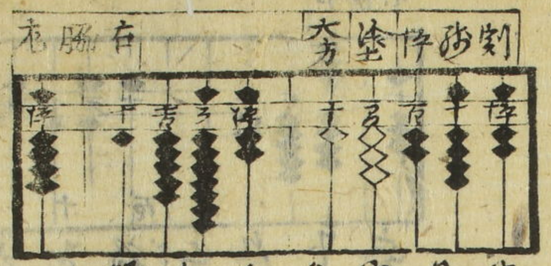
とかくの位数をそなわるとみこうひんを
数のそのそ大方二をつけそれに位の割なる
をつけそれをもつけと浮数花割後
浮てひいをり

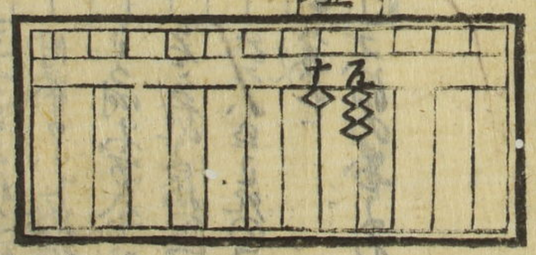
其間四方六面積二万百八拾七浮

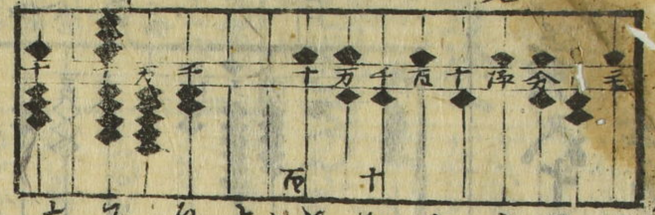
とかくの位数をそなわるとみこうひんを
数のそのそ大方二をつけそれに位の割なる
をつけそれをもつけと浮数花割後
浮てひいをり



積五十六万千五百十五浮六分二厘五毛と
四方六面をもつて
八拾弐万四千

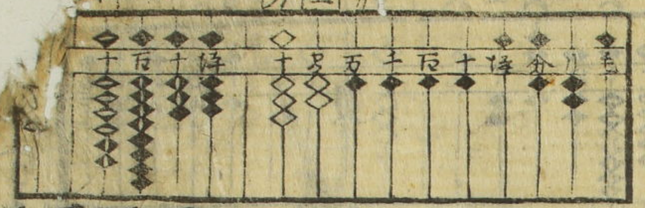




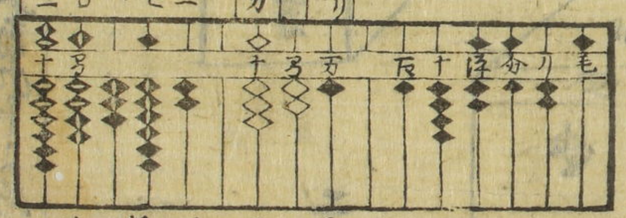


後五一〇〇十〇〇百とする
こゝ河面よりゝ〇〇千の
位より九振より返して九六三
八十五と出るけ合八
六の四百もよる八十五
とくれば六十二万二千浮も
箱とのこ浮撰で減じて
上へ八十五と六万と五振の
九六八皆振義と八十五九
下へ移して四万の五百十五浮
六分二六振の算とする

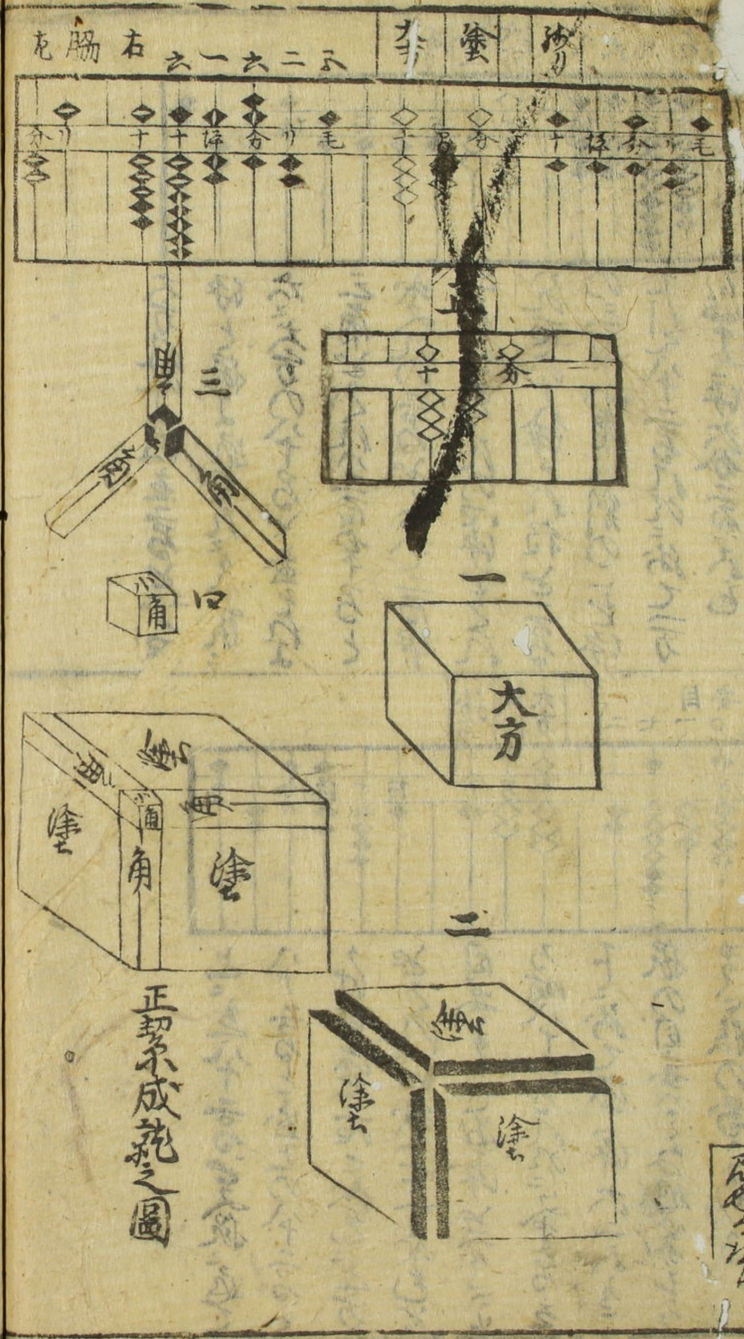
上こゝ六方のごとくに九より又
八十五と出それ〻の大方八十
五とくれば六百と出それより
二方もくれ八九二と成り上
目安のして浮をこゝ
ゝ時大方八十五九振より二
五と九振より返して一方
六百二十五
六分二九振の目安八九振義
又振の算とする



大方九振より返して二百と二八四
浮と振より返して五九振こ
六こ大方の八十五と出それは
二角とくれば二百四十五と
出又九の二百とくれて二百四十
二百五十五これの四浮とくれ
ば百六十八浮これ箱と二百
の三角小角に割のこと浮
でくれば八十二百九振こ割て一方
百四十七浮六分二百又九
振の算とする



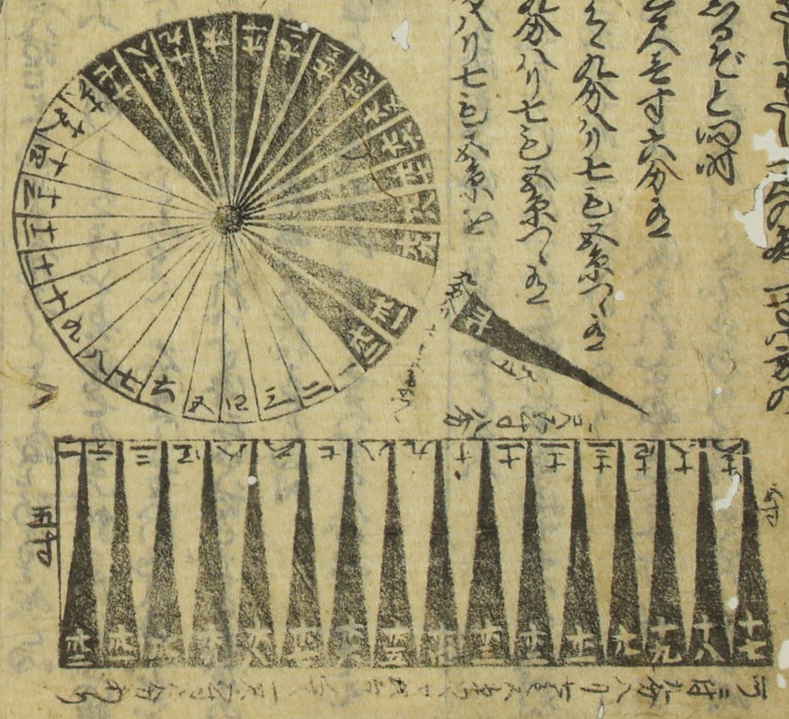
上こゝ八十二百と又振こ返て
八十二百と出上の八十二百と
け合六七二百とくれ二方
とくれば二振一七二と成り
目安のして浮二百こ
る時八十二百九振こ返る
下こ移て六一浮六二又振
の目安八百九振義と
まこ振の算とする



○第三　正圓術

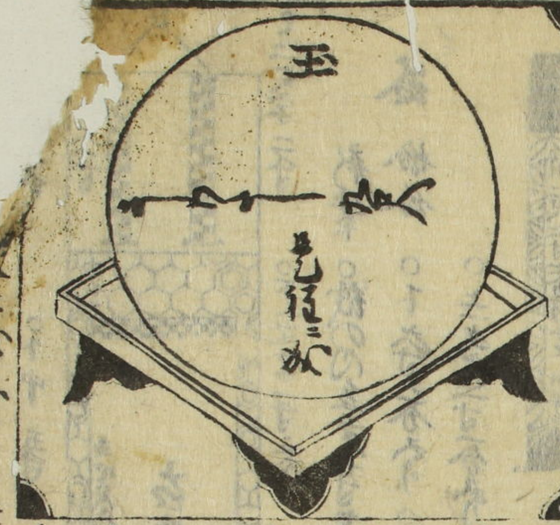
周径求法之事

○そもそもこの径三寸の八角七十尺ばかりとしたる八角
術よりこれを求めるに　径三寸の八角七十尺ばかりとしたる



○第四　正隅術　周を径法事

○まるき方六面の横三寸五分の中に方六面のつもりの径を問
答玉径九尺五寸とする



術横数を三乗して七を掛て径の積を問
玉さしもとめる法なり

玉洋横八四寸と問うとき横を三乗して
くる時は方六面のつもりの積なり
又径とあるよりまた径を又三乗
とりてもとめるべし
右玉のつもりうこれを義と又分義の玉法を
といへども八倍なるしつもりの九ちがひ
らく径一尺の玉は一寸六面のつもりの者三分すこし
とんぢゃくしゃ中つもり玉法八秘伝　ゑんぢゃくしゃ
又玉法をもつて径四寸八尺三寸とこれ大ちがひなる事
のつもりのなり

拾合術

○上二文字二寸　○下一文字一寸三分　○下中五寸　○あらき寸分

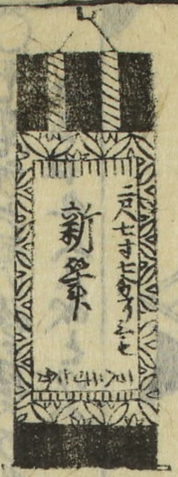
○だく五寸六分

代りけのなるまをとうして新菊八左の三ナ一すしたの紙の間にてかこはゆくいづれも日の出はいよ〳〵とも

巻　拾合

○下寸寸三分五厘　○上寸三分五厘　○横幅三尺二寸七分　○上寸三尺二寸一分二厘五毛

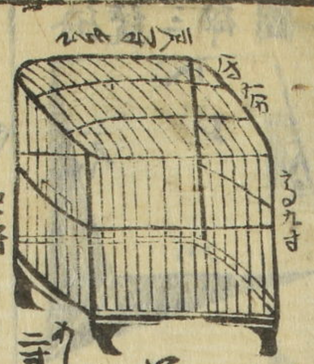
○上二文字一寸五分五厘五毛　○下四寸五分五厘　○横幅二分四厘六毛　○下中二寸八分八厘七毛



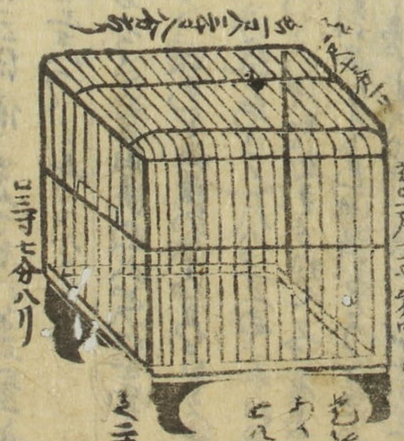
新菊出流出る也術は俗位用平法也

○代表のうこ長さ一尺三寸で八寸五分五厘九寸は廣三寸巡る二寸五分八厘五毛拾合のうこ長さ間の巡り長さ一倍ありて巡り長さ五倍なるなり

巻



巡り長さ八寸八分六厘
高さ一寸五分六厘
巡る一尺八寸三分四厘
口二寸七分八厘
巡り長二寸五分二厘

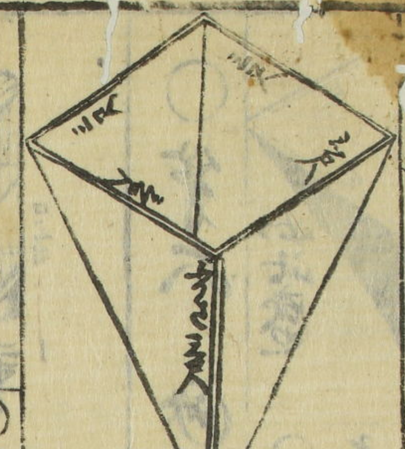


巻と表術俗位用法

○第六　海統術

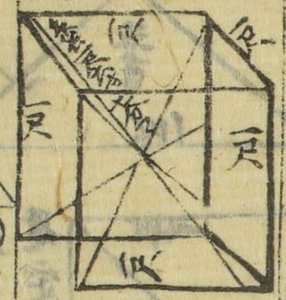
必法度也

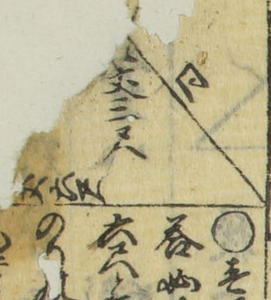
○糸巻二寸四方八の箱を作こ八寸分ありて口方術のごとく、そこをでーこと術は廣俗の箱口方にて巻口廣三分巡り長さ四方廣と云術巻法六口八二七二寸巻巡り長さ八寸分とハ術は巡長知る巻口二寸巡り八寸分とハ術は巡長知る巻口二寸巡り八寸分とハ術は巡長知る巻口二寸巡り



○右年を石口半軍八横ゆて石方をこゝ定りの数さん時
ゆるゝとこゝの長こ石方ゆ是も四分ゆて伊程ゆて伊と同
各三尺ゆつゆと云 右年を石口半軍八横ゆて石口半軍八横ゆて
右年の法十六ゆ八割時一寸六面の横ゆゆとこゝ石口半軍と
の法三ゆゆ八割時一寸六面の横ゆゆとこゝ石口半軍と滑続
口口方ゆゆさ伊も三尺ゆつと云ゆなり

○滑続の法三の数八ゆ口方ゆゆさゆ滑続数六ゆ八口を面ゆと云の面
ゆゆ伊ゆ三角方六面さんのゆゆ滑続の法ゆゆ八口方ゆゆ面ゆと云の面
口尺口方ゆゆゆゆゆゆ滑続三ゆゆゆゆゆ八口尺ゆ三尺ゆゆ三尺ゆ八割ゆ
ゆゆ伊滑続数三ゆ割ゆゆゆゆゆゆ八口尺ゆゆ三尺ゆゆ三尺ゆ八割ゆ
三尺ゆ滑続数三ゆ割ゆゆゆゆゆゆ滑続ゆゆゆゆゆゆ滑続ゆゆゆゆゆゆ
ゆゆ伊ゆゆゆゆゆゆ滑続ゆゆゆゆゆゆ滑続ゆゆゆゆゆゆ





○かくのごとくなれば六ゆ八わんゆ八のさんのごとく一尺六面三ゆ一上四
角ゆ六ゆつけ一尺六寸七分ゆ一ゆのごとく四角ゆゆりゆゆゆゆ
まん中ゆて四ゆゆゆの六ゆ八割ゆ合ゆゆゆゆゆゆ
わさゆゆゆゆゆゆ

五寸

五寸

五寸

五寸

一尺

五寸

五寸

一尺

五寸

五寸

五寸

三角の法四三二九記

積四十三切二分有
是定法也

○三角の法四三二九記
面の方八寸六分有
法求術 三角の面の方の二乗八角より
ひく八寸六分有 法求術 三角の面の方の二乗八角より
四三二九記 三角の面の方八寸六分有
三角の面の方八寸六分 八角より
ひく八寸六分有 法求術 三角の面の方八寸六分有

六角之起

○六角の面一尺八寸の時半うりひく七寸三分二リ五
とろくり　毛長一ありり
右六角のおこりハ面二尺八の三角　うり面一尺八の六
角と出と四二角の三ととこれ八面一尺八　このうつで
ろう角をりとまた二角れ面が二尺八寸八六六とろ　これ三角
の半径五リ　二尺八寸九分八リのひくとこれ　三角
ろ分の五リ八寸六分六リ　門八寸三尺七寸三分二リ
これ六角本とひく　との径なり

仕方　三角六角
六角と　又ものの面ろう六角八起　法もの

八角

○筆十二

○七尺四寸八リ　横三百九十一坪一分〇〇四七八角ものして一方の
面ハ横ものと　春の月ものと　ものと云
掛後数と定法ハ八二八四七割ハ八十一坪と成ものと正径七尺
除之時八尺の面ろくも　右八角の坪数とつりの時八面の六角
ろ五リ余之法ハ八二八四七とくれば六尺四寸八分〇四七割
みせ九八三四二の法いらべのろ　一八角坪横七四七
八角一つ九七二寸四方坪ハの横ものと　春八四十坪〇五三九と
又　八角の半横八面のすどろくもとびくれて　ものと
掛角径二尺八寸八分七リ横一尺八寸四分七リ　坪数
右八角のもとと径二尺八寸八分七リ　坪数
同坪ハ横之法ハ八二八四七　面ろ五リ余　面ろ五リ余合一尺四二二七割
てもゆく　八角の面二尺八寸八分七リ　半八の径自乗して後一〇七三七
同面二尺八二三三とくれば角と角　との径ろくなり

八角の法四八二八四七数圖

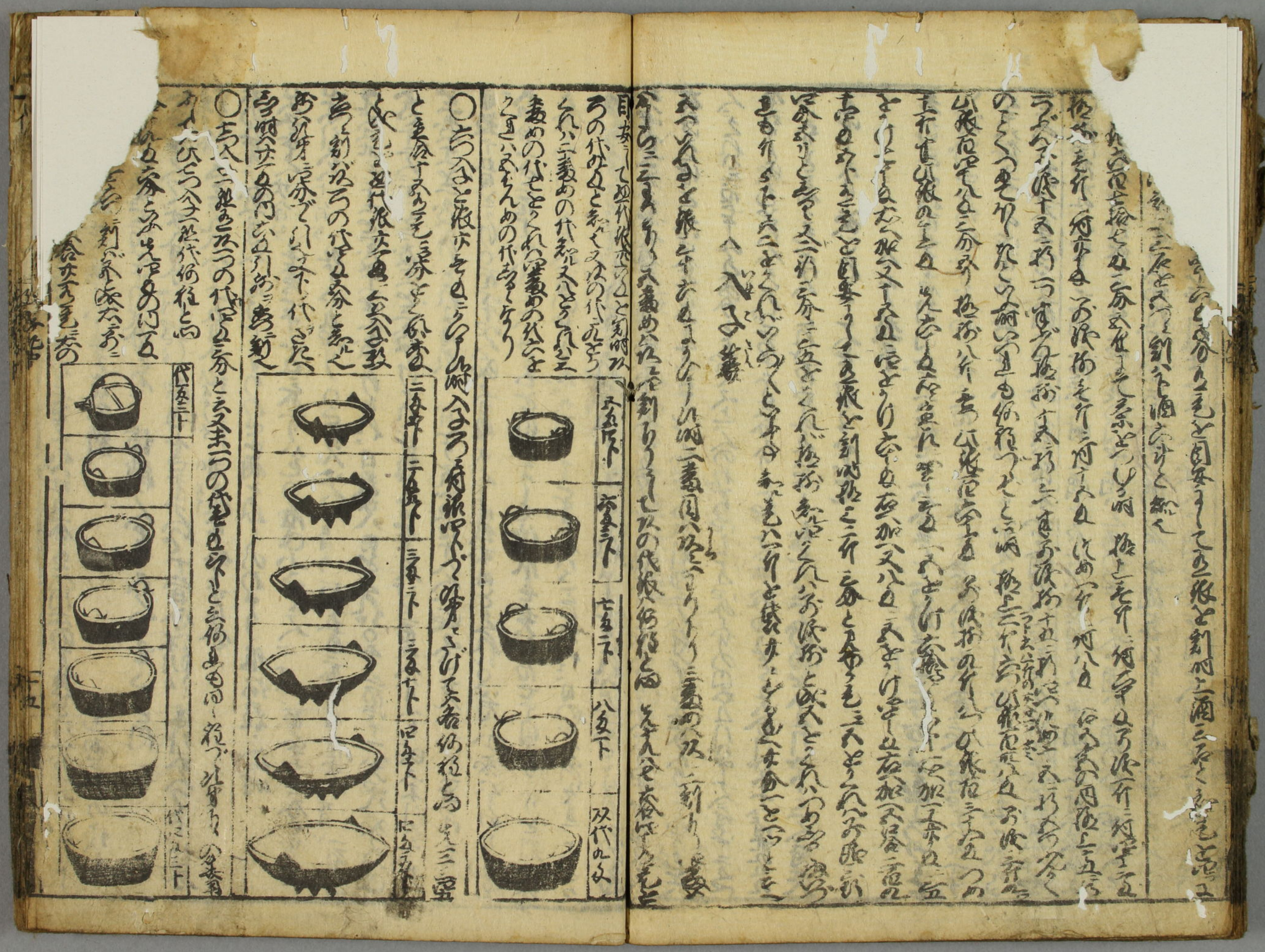
○右八角之数は三八四百分の角より八つのびは得分なり
つまり三角と自然にして二八九二百八十二五と成る又三角
六百八十三と成る二八九二百八十二五の三角と八角除之時八角の面積可得分
と云なり　又法如三角之時之如為之面積八角之形之圖如左

○第十九　求る下剤

○根の数百貫と上中下三人に剤薬の時上分の中八剤下分の中三剤
なり根の数百貫　答上分三百六十貫　中分二百貫　下分一百四十貫
上分三百六十貫　中分二百貫　下分一百四十貫
上三百六十貫の中八剤なり中分二百貫の中三剤なり下分一百四十貫の中二剤なり
○根の数百貫と上中下三人に剤薬の時上分の中八剤なり中分の中三剤なり下分の中二剤なり
上分三百六十貫　中分二百貫　下分一百四十貫
上三百六十貫の中八分の一なり中分二百貫の中三分の一なり下分一百四十貫の中二分の一なり
○根の数百貫と上中下三人に剤薬の時上分の中八剤なり中分の中三剤なり下分の中二剤なり
上分三百六十貫　中分二百貫　下分一百四十貫
上三百六十貫の中八分の一なり中分二百貫の中三分の一なり下分一百四十貫の中二分の一なり
○根の数百貫と上中下三人に剤薬の時上分の中八剤なり中分の中三剤なり下分の中二剤なり
上分三百六十貫　中分二百貫　下分一百四十貫
上三百六十貫の中八分の一なり中分二百貫の中三分の一なり下分一百四十貫の中二分の一なり
○根の数百貫と上中下三人に剤薬の時上分の中八剤なり中分の中三剤なり下分の中二剤なり
上分三百六十貫　中分二百貫　下分一百四十貫
上三百六十貫の中八分の一なり中分二百貫の中三分の一なり下分一百四十貫の中二分の一なり
○根の数百貫と上中下三人に剤薬の時上分の中八剤なり中分の中三剤なり下分の中二剤なり
上分三百六十貫　中分二百貫　下分一百四十貫
上三百六十貫の中八分の一なり中分二百貫の中三分の一なり下分一百四十貫の中二分の一なり
○根の数百貫と上中下三人に剤薬の時上分の中八剤なり中分の中三剤なり下分の中二剤なり
上分三百六十貫　中分二百貫　下分一百四十貫
上三百六十貫の中八分の一なり中分二百貫の中三分の一なり下分一百四十貫の中二分の一なり
○根の数百貫と上中下三人に剤薬の時上分の中八剤なり中分の中三剤なり下分の中二剤なり
上分三百六十貫　中分二百貫　下分一百四十貫
上三百六十貫の中八分の一なり中分二百貫の中三分の一なり下分一百四十貫の中二分の一なり

△ 以下り

○根七貫二百五十四文 銭八十二人 酒八人 酒門二石六斗 銭中十八人 酒二石 銭二百五十六文 酒一人 酒二石 銭二百八十六文 酒一人 酒二石 銭二百八十六文 酒一人 酒二石 銭二百八



[illegible]

△[illegible]機人[illegible]の事

[illegible]七百七十四人分三厘　備後人七千[illegible]人[illegible]

[illegible]人[illegible]十六日分　[illegible]百[illegible]十五日分[illegible]日[illegible]十六日分

[illegible]の[illegible]日数[illegible]ひくのわり[illegible]州

[illegible]人[illegible]十八日分　[illegible]七十三厘[illegible]

[illegible]人[illegible]十五日分　[illegible]百[illegible]七十七厘七リ

[illegible]人[illegible]十八日分　[illegible]百[illegible]七十七厘七リ

[illegible]人[illegible]十五日分　[illegible]百[illegible]七十七厘七リ

[illegible]日数[illegible]十二日とすれば[illegible]日数[illegible]十八日とすれば[illegible]百十八人[illegible]十二とすれば[illegible]

[illegible]日数十日とすれば[illegible]百[illegible]人[illegible]

[illegible]人[illegible]百十[illegible]人[illegible]

[illegible]人[illegible]百[illegible]人[illegible]

[illegible]

△[illegible]の年数

○[illegible]十二人の年数合[illegible]百[illegible]人[illegible]

[illegible]男[illegible]

[illegible]

[illegible]

男五人の費七百五十目○三男五人の費八百目○四男五人の費二百五十目○五男五人の費
五百五十目○六男五人の費七百五十目○七男五人の費六百目○八男五人の費二百五十目○九男二人
の費七百五十目○十五人の費二百五十目○十一男五人の費七百五十目○十二男五人の費八百目○来る五人の費二百五十目
先百人の費十五貫目と計べし。なほ先に費目と付て見るべし。
先だん人の費目と云は男九百五十人加へ男二百八十目加へ男九百五十人
加へ合八貫三百目也。別附先の記分五人費目と云は二百目也。
合三人の記録九百八十目とこれが三男の記録と取ひでく人数なり
なんぞ人数のわりふくなり

△五中為の人数之割

○京分沼津道五人宿為の十六為の人数十二宿に来る人のとりて
五人宿五中為の記づのやとこれを又一日の四種宿所用とそろう仕るもろくこと能成し
どころ 為五人宿 中為宿中六宿五人宿
割ハ人宿の人数にて為と云 人為為十六為三宿五人宿
ヒ十二宿に為ハ三宿にて人数とそろうもの四人にあたる宿と毛割人の中とこと毛
ひとあるなり

○挑灯人とりあつかひ

△挑灯の業五三貫目沼津分四一組分の六十挺一組五五つ下の五挺一組五
六下の五挺一組五五の五挺一組五五五五挺一組五五五五挺一組五五五五
一組八分の六十挺 八貫五百九十文 一組 ひとの二十挺 九貫二百目
一組 五五下の五挺 四貫五百八十文 一組 ひとの二十挺 三貫七百六十文
先分の六十挺 五貫八百八十文 一組 ひとの二十挺 九貫二百目
五五五五挺 五五五五挺 五五五五挺 五五五五挺 五五五五挺

[illegible]

八百八十三文八分四厘　八十四　八百三文八分四厘　八百八十三文八分四厘　八百三文八分四厘

○二と書き[illegible]三十三文四厘　○三百三十三文四厘　○二百三文四厘

○二百八七七三文　右見八日数合七八三三文九百九十三文九百目と

別所米八千俵米二千目の通り六百六十四文八百目

○俵一つの八分米二百六十目と四十八文の内俵八分の内

又米三百四十三文四厘　米二千目の通り六百六十四文八百目

○俵一つの八分米二千目の通りゲ別所米八千俵

九百石九　十七人ぶん

二百六十九人分と百六十九人分をかけ二万四千二百六十と合てとる

一人分の石高七斗二升八分七厘三毛八ツ七ツ三ニ
百八十九石二斗七升八合七ツ

四百石九　九人ぶん

二百九十人分と百六十九人分とかけ二万四千二百六十と合てれん

一人分十二石六斗七升七厘〇三ツ六ツ六ツ
百六十一石二斗二升三合二ツ

五百石九　十二人ぶん

三百八十一人分と百六十九人分をかけ二万四千六百六十と合てれん

一人分十五石三斗二升九合四ツ二ツ六
八十七石一斗七升三合四ツ

六百石九　六人ぶん

四百六十九人分と百六十九人分をかけ二万四千六百六十と合てれ

一人分十六石八斗二升四合六ツ八ツ
十二石一斗二升一合三ツ

七百石九　四人ぶん

五百六十九人分と百六十九人分をかけ二万四千六百六十と合てれ

一人分十八石九斗八升七ツ八ツ
三百九十七石九斗七升七合六ツ

八百石九　二人ぶん

六百六十九人分と百六十九人分をかけ二万四千六百六十と合てれ

一人分十九石九斗八升七合六ツ
六百十八石九斗八升三合八ツ

千石九　一人ぶん

七百六十九人分と百六十九人分をかけ二万四千六百六十と合てれ

一人分二十石九斗八升七合六ツ
六百七十九石九斗八升二合三ツ

千百石九　一人ぶん

千百九人分と千百九人分をかけ二万四千六百六十と合てとる

一人分二十石九斗八升七合六ツ
七百九十九石九斗八升七合六ツ

三千百九十一人分

千百九人分と千百九人分をかけ二万四千六百六十と合てとる

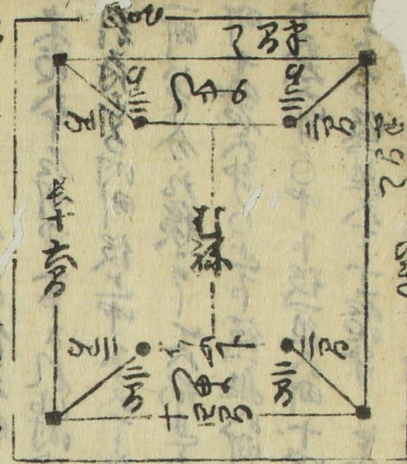
一人分二十石九斗八升七合六ツ
二千百九十石九斗八升七合六ツ

右の米合千百石百四十二人のとり米なり

△荷飼米所役と森と新米所役と森と新米千百石所中一下されば所門の石高千八分と乳ぬ八分と乳ぬ八分と乳ぬ
新米とる時所役上中下五十俵つゝて九俵の上て役一所のわらとなる九俵目の下と乳ぬ
一所八千分九厘ゝつゝ大俵とも俵とる時二〇上と役一俵五十
所十九石六斗〇上下役一俵五所十石二斗〇中上役一俵五十
十五石六斗〇中下役一俵五所十四石二斗〇下上役一俵五十
下下役一俵五十十石四斗　先九俵に八ぬけ九八七十二所に毛二十九ツ九俵百八十に毛と
一九五米百四十石四斗と新八俵所一石三斗づゝのりとる故三三百六十六俵八毛合
斗ゝ二九米百四十六斗六升六毛と米百四十六斗に俵百八十七石二斗九ツ毛と九俵
八九米百六八斗と乳ぬ九俵と乳ぬ九俵米百六十七石三斗づゝ引て乳ぬ九俵目の毛ゝ俵

六　作り平屋弥陀并に小さ板つくり

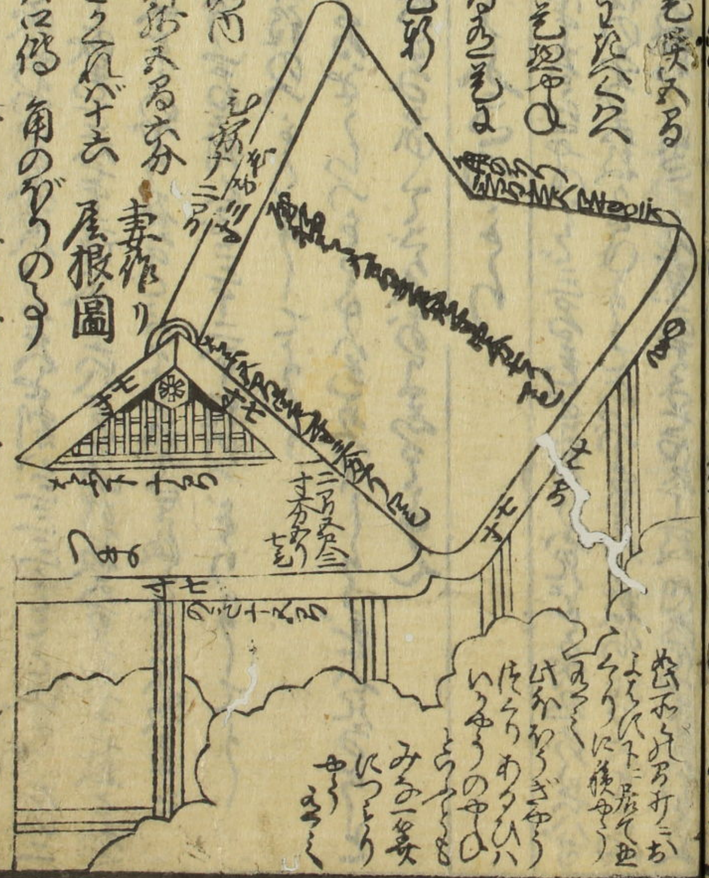
指図に曰



長十六方とうつ十七方あらう四方に畳二方ずつ
おれ破風厚七寸六分づゝ縁の広厚寸あつさ六寸方
かゝ板三方付ひ屋根板五枚付位あと同断
平屋弥陀　二百八十七坪七分一厘六八　内八百四十一坪
角のりう　七坪九分七厘　内四百二十一坪

右屋根坪つもり公式の法とかのひと知時八寸方ゝ
ゝ　八方ゝ九十六方九分ゝ六八と成もあとてたゝみ
つまり八分十二方もひとのもさもこれの如
とたのけてとたゝつまり二方ゝ合二方まとれのびとくれば二百八十六と成
二方まとりけ又二とくれば十七坪八九四もとれ
の内ゝつまれ四方八分十方もとれ坪のゝ角こゝ三坪ゝ外り長廻とくみたり十四方
ゝ　もこのさきゝ入方と知成ゝ入方と成もとれの二方

八分七八つまの屋根とてゝ方ゝ九もゝ
ゝけ分七坪〇四方と成もとれ
三百合二百八十七坪分一又六方三也
平坪と知ゝ又別母ゝ方四方〇
七寸六分とくれば半八坪と成也別
坪ゝ又縁十二方ゝ方ゝ
ゝれば七坪二分と成也平の坪ゝ
ゝ方ゝ屋根とて八方也分又三方の内
つまの屋根とて二方八分一七八八分ゝ方
三又六也三坪とけ四方ゝ寸六分とくれば十六
坪九分〇六八七六坪ゝ系面八位　角のゝ
つまの屋根とて三百二坪ゝ又也とけそれを長二方で割ば七坪七分七厘と知也六方ゝ系面八位
六屋根坪ゝつもりて方ゝ方ゝ九ゝ九ゝ九ゝ方ゝ
〈ふきゝつもり



七坪九分一六八六の三坪〇六八の三也とこけば

寸八分ふとさ　ひとすん　寸分ふとさ　ひとすん　寸分ふとさ　ひとすん　寸

△俵つもりの事

平俵八方横ゑけ合俵数〇又るのまたたすみ六ゑ剣て一方八方一方八方
すだりの時八をぐこけ合板六ゑ剣ても俵〇又四方皆丈たすの時そまくけ合
板平俵の法ハ二三ゑとハ剣ば俵〇法ハ二三ゑとハ八一方ハ方の四八ゑ俵数ゑハ
俵八方横ゑ二方ゑハ俵〇又るとたゑ時八六又の剣ゑ四方〇又三方皆丈
たすの時そまくけ合板ゑ俵の法ハ二三ハ六二五とハ剣ば俵〇法ハ三三ハ六二
ゑとゑ八一ゑ六面の四ゑ俵数ゑ又一方ゑひろく一方八四ゑ時なゑ方ゑ巻二ゑ
剣ゑれ長さとゑつもり

△俵数ハ二つゑ長ゑ剣ゑ事
六二ゑの俵ゑ二ゑ長ゑ二つく時ゑ〇そ二ゑ根五ゑ六ゑ
て長ゑ俵ゑ長ゑ　巻長百六十ゑ長ゑと云　六八ゑ
五合二ゑと剣ゑれゑるとゑれば二ゑ長ゑ長ゑ目安ゑ

△俵俵八ゑ八の事

長百六十ゑ根五ゑ六ゑ〇ゑ俵ゑ八俵数ゑ俵ゑ長ゑ巻二ゑ俵
ゑとゑ八　巻八ゑ五ゑ根五ゑ六ゑ五合ゑ二ゑ剣ば八ゑ
ゑ百六十ゑとゑれば二十俵とゑる

俵根五ゑ〇ゑ俵つもりの事

長七十六ゑ　ゑ二ゑ長ゑ〇ゑ俵ゑ　孫五ゑ八ゑ
孫ゑ俵数ゑ俵ゑ　巻根五ゑ　俵数二百七十六俵ゑ　六八ゑ
ゑるさゑのゑとゑのそれゑと信ゑとゑ〇ゑ俵ゑ八ゑ孫五ゑ
ゑ八分ゑれゑ孫五ゑとゑ〇ゑ俵ゑ八ゑ孫五ゑ八ゑ俵つもり
同ゑ〇ゑ不ゑ俵ゑ横ゑ八ゑ

長弐百ゑ　ゑ二ゑ　根五八ゑ　ゑ〇ゑ不ゑ俵ゑ八ゑ
ゑ俵ゑ根ゑ　巻俵数ゑ八百俵　ゑ〇ゑ　ゑ八ゑ
倍ゑ根五八ゑ八ゑ　ゑ八ゑ　ゑ〇ゑ

俵ゑ不ゑ俵つもりの事

ゑ百六十ゑ　ゑ〇ゑ　孫五十ゑ　ゑ二ゑ不ゑ俵八ゑ八ゑ俵ゑ俵数ゑ俵ゑ
ゑ巻俵数八百七十六俵ゑ　ゑ二ゑ　ゑ八ゑ孫五十ゑ八ゑ

八寸五分七厘と三分の割合なるもとのつぎ割合なるもと知る時はいかなるものにても知るべし

拾つぎ寸のうと尾張の

何事も同じこと

振矩ちぐのり寸　おしちぐのり寸　さるぎのり寸　ちりまれつぎ　とれ矩　ちりの矩　何するのうつるさ

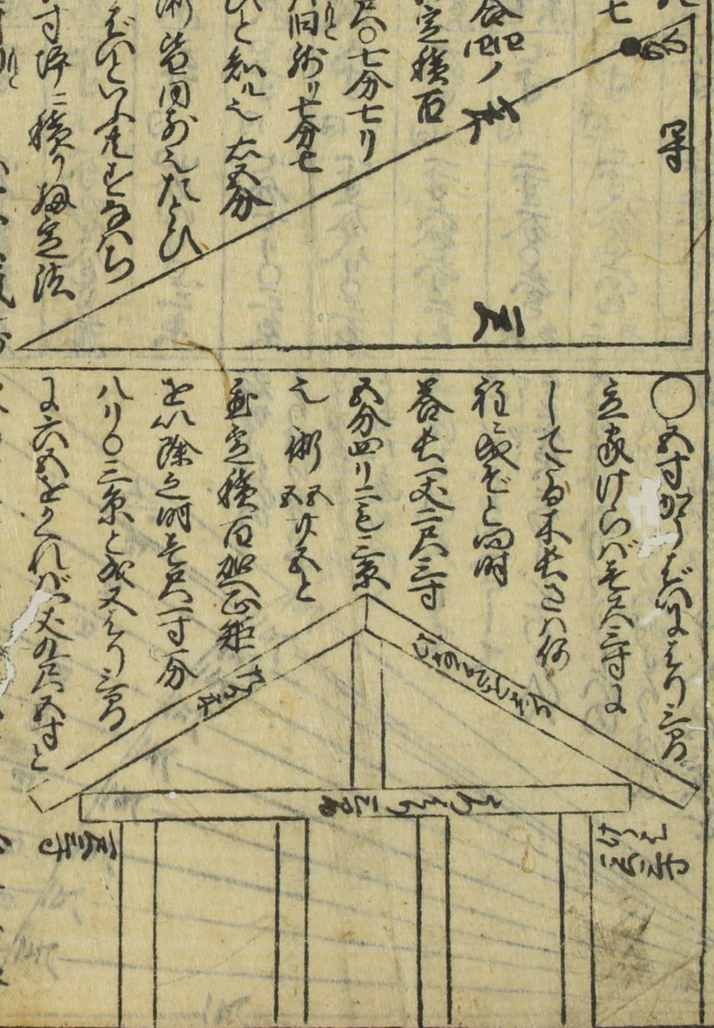
よりてうーしとるさよりうのぞとの　答えすのり寸　簗てうーと云　六分矩寸

の四角しりとりあて二つに割なるとんぢのり寸

拝数法よりつたるとのもの

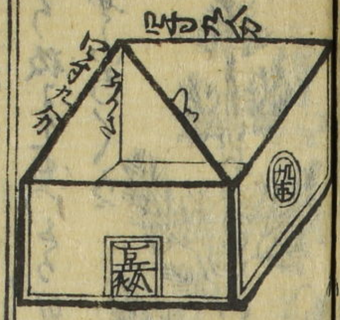
六分矩寸　拝法こうく　対長二百五十寸　矩寸　二百五十寸　矩寸　二百五十寸　矩寸　

勾股術秘伝



○高代の一本星と弦の出合わりそとの
巻七寸の分二りの元七寸とする
元寸の分自然二尺〇一とおぼし 正矩とハ除之べ
ちりとり 又元寸の分より一尺〇二をとりてもゆ

○ひとつとり
巻七寸六寸の分とする
て十二の元七寸とする 術に寸分巻面に並け合
元七寸六寸とする又元六寸面に並け合て二百年
ハ除之べ弦出とする 元寸面に並け合
てひぞん仕る術也
ちりとりとの術元もぞせよ 養出よ不見紙よ
世界秘伝 伝人のうあれ今年此法を乱ハ上之べ
しとす



第六 出来出板

もくひとみくくとどの方より
とりよせとこれて二角に
ねりさんまのもとと
上の角と木のもと
三ふろくよ合されなり
木のもとよりてもよ長さけを
入て木の長さうしていろもうあれつりと
もさんらるもてわりはでしよりまこうとろも
わり板さんもつもりけんつえどんもけりろ
ふ中いろくみこ

第七 町見積図

○もくひとの相まで
ことさ仕れあとと四付
十二町半の石二尺五寸ゆ
とし人 御出宿で二尺の
板とれそまえのもとこ今され
のもとひとれ木のもと日
付すてこれ一とでいとと
とし又一方まれもとこ今もと
さし中されのもとこ今の日付
ふいろもくれらあ合ろとれ
まえのもそわろひいり六色
にあるとれと板出宿より
れいれと成もと月要すして

板

○第八 布ぬと人

ぬと人布どとろとこけば人○又十二階つとれば十二階
どれ八階つとれば四階余
又れ階で刻ば二階ぬと
以ひ長人布数伍拾
養宿人の二布数六十階
又えあるとこぬと表七
階色刻数と表色二階
とれ七階のわまとこ
ぬの数布階とろく

宿人表圖

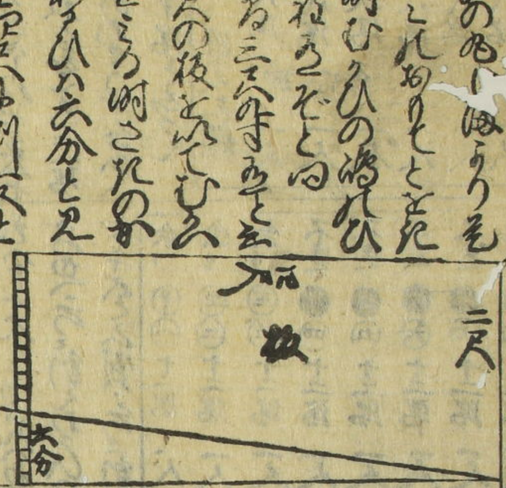
余り○	八階	一人
余り○	八階	一人
余り○	八階	一人
余り○	八階	一人
不足●	八階	一人
不足●	八階	一人
不足●	八階	一人

余り(卜)一	十二階	一人
余り(十)二	十二階	一人
余り(十)三	十二階	一人
不足●四	十二階	一人
不足●五	十二階	一人
不足●六	十二階	一人
不足●七	十二階	一人
不足●八	十二階	一人
不足●九	十二階	一人

二十人と云関八石二刻人
ぶ四二石二刻人あ十
ぬ人と表七
色刻人表七
階色刻人表七
階色刻人表七
階

○第六　海中鴻廣積

○ひろさのもしほうりを
まどうこれなりそとをた
つるまはひろさの海れひ
ろさ何程ありそとは
廣半八分三尺四寸四方と云
例ば広さ二尺の板をひろ
の広海とろう何されのか
積をわるひい六分とた
ゆるを広さ二尺の割一を
かれりつまはとり三尺と成
をもつ三尺とろれば八寸と成をこ
とろれば八寸と成をもつ八寸とろれば
半八分六分と成ひい六分とろ
六尺とろう何半分三尺四寸



○第七　うんぞん

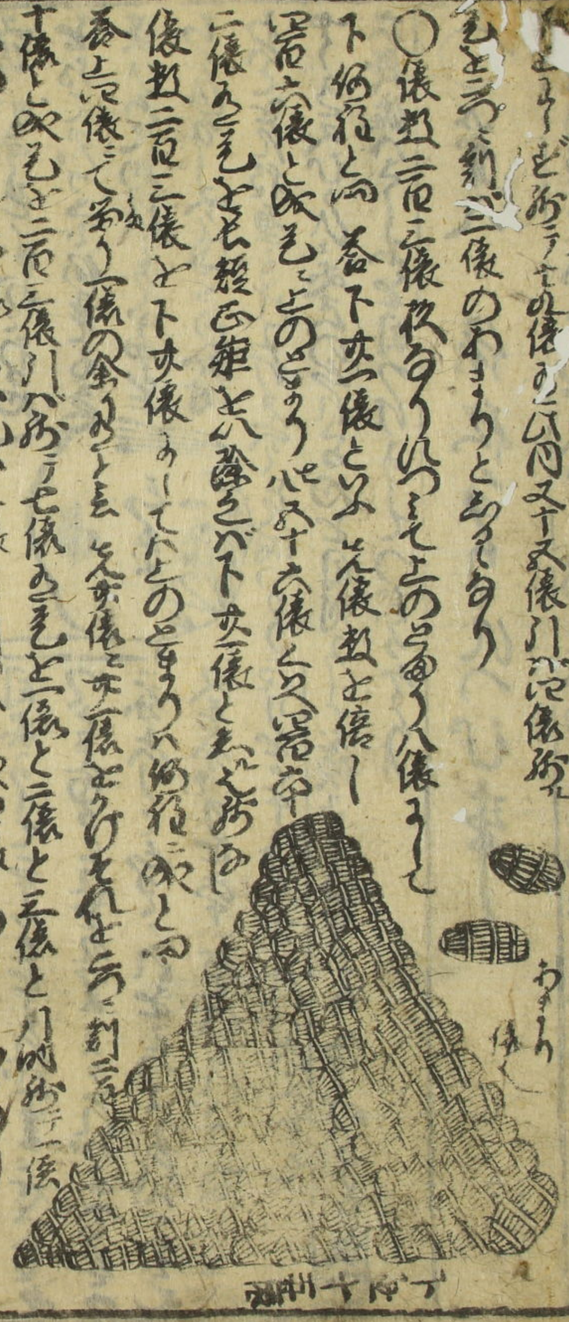
○米一石は七斗とつゝのゞり何
うんちんはこの米十六斗にて石は
石の円事　掛何ほ米程れん
何程と問　答一石七斗
半八米三斗
六八一石は九斗と
一石半三斗と八
割何ほ米と云
又うんちん米と問何八一石九斗の
円ほ米とり何ほり三石八斗米
七斗をもうんちん永一艘とた十二畳五二ほ米を
掛ては米人数十八人とる何円三石八斗
のつのみをりのつ六八十三とのつ何八人ほ何
うんちん何程で掛そと問三石八斗
六何程ほ

六分八分半八分三尺四寸
半八分で六十二畳十五分八分三尺
五八十二で　先三人三り半分二五畳
又人三りとり何ほ六半三尺又六人三十三尺
とりの三十分を三尺答ほ六半ほ六三尺
月米うて二十五とりれば二畳二分一石
てとる命ろこれとの畳ろこれば三人分三の
二分六りとろこれと三つとろれば二人分三
又半分八りと六半三尺とれば六人分
りとと十八尺とくれば六人分

六尺四寸四方と成ほ六人分
六尺四寸四方と成ほ六人分
六尺四寸四方と成ほ六人分

二俵のわまりのことを云　其俵数を倍し開平と八割バトすれば俵数

ことごとく所ラ其の俵の二八四又十又俵八八割バト俵数



○俵数二百二俵数なりつまり上の方八俵うて

下の段と云　答下段二俵とふ　其俵数を倍し

百六俵と成る　其上のとまり八十六俵と成る

二俵ゑ其と長短正矩を八除とバト段二俵と云

俵数二百二俵と下段俵ゑ上のとまり八段二俵と

答上段俵こて第一俵の余りゑと云　其段俵と段俵とをけそれと云　割三

十俵と成る　其二百二俵一八割バ百七俵ゑ其と一俵と二俵と三俵と四俵ゑ

其わまりゑと上段俵とゑ其八三俵をとりのハ其次段俵ゑりと云ふ

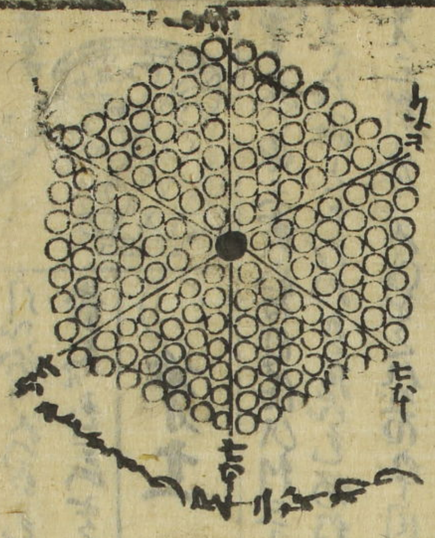
○第九　矢筈竹かぞへやう

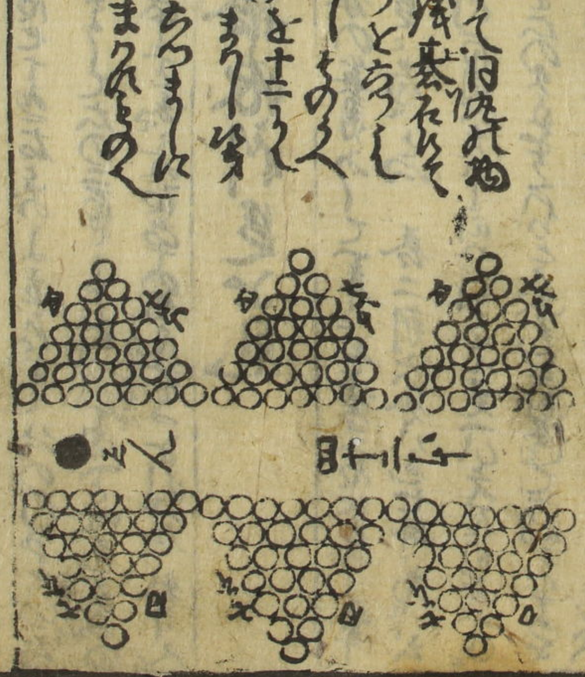
ひまりゑ数百六十六の河原の数段段ゑ

乗数百六十ゑ段ゑ上のとまり

七十六と成る又四百六十六を三乗ゑ

矢筈竹解図





ちうと刻バ其段ゑ上の七段ゑ八段ゑ百六十八段ゑ加て段段百六十八段ゑ

段段百六十八段ゑ三乗ゑ加て段段百六十八段ゑ

○第十　笠形俵数りかぞへ

○ぜんを要又のそうりゑとびのりゑ三のわ笠と成る

そうりゑ竹俵二又ゑ三段ゑのれ　ゑとびゑ又ゑ八つ段

ゆうて云ふゑ俵数りかぞへ百六十ゑ段と云ふ

○此岩三義び銭八百文ニ対二文で　ゆとび百文ニ対
文一四文一文　ゆとこ百文八伝銭四文ニ対八分
教会九百文　教会九百文　教会九百文　そんなうとなるうて四百文
とこの文ゆり八百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文
ゆり八分とゆとび八百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分
ゆとこ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分ニ百文ニ文の四と八分

○第十一　元禄銭利足之見

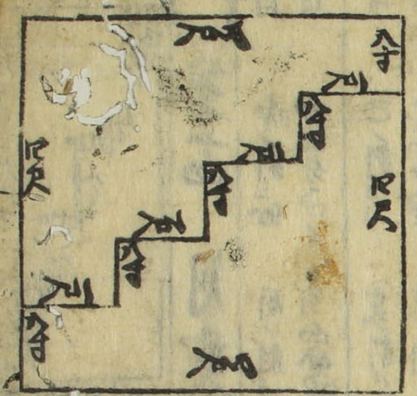
ゆとこ八銭三要ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文
ゆとこ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文ニ百文

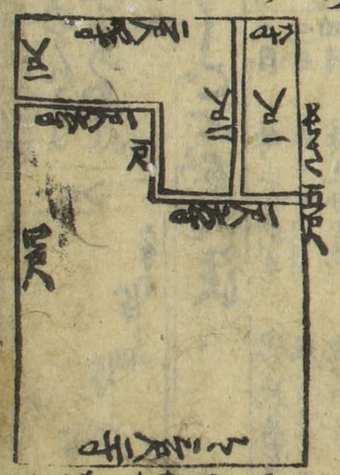
○第十二　六石六斗六十石

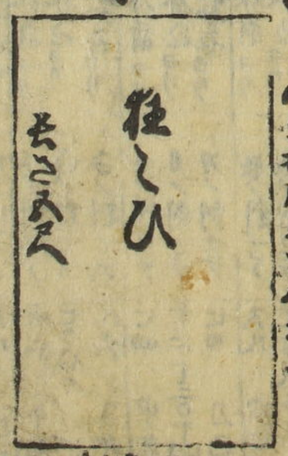
米六石俵六斗百目ニ付　米百俵の利足ニ付　何ほどとる利利八四ツ　ろ分とり八色ロ
之又用ニ付八分之利ニ付　利六分七八〇ニ付　利六分七八〇ニ付　利六分七八〇ニ付
俵八用ニ付　計ニ付　利六分七八〇ニ付　利六分七八〇ニ付　利六分七八〇ニ付
俵八用ニ付　計ニ付　利六分七八〇ニ付　利六分七八〇ニ付　利六分七八〇ニ付

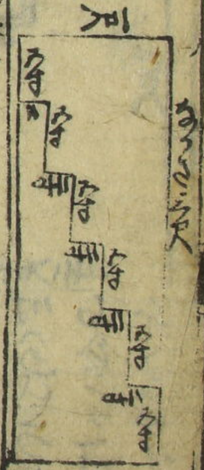
○第十三　利足ゆう

○ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付
ひとりくいとりで三尺二寸ニ付　ひとりくいとりで三尺二寸ニ付









第十四　月次漁網りごと製法

| | | |

第十七　鉄炮之図　武器の寸法

太小筒の形ひくくつくるかりいの世二十るとそうげうこと別付こわるひくくつくるの度薬のげんすうしとかでめちぐひいろくたし

二分の内三匁七分六厘	匁	二分三厘六匁二毫	匁
三分七厘〇二毫	匁	三分の内八匁七毫	匁
四分二厘六匁六毫三毫	匁	四分四厘六匁〇二	匁
五分八厘六匁九毫	匁	五分七厘七匁七毫	匁
六分四厘八匁九毫	匁	六分一厘一匁一毫	匁
七分四厘六匁〇四	匁	六分二厘二匁六毫	匁
八分七厘六匁〇四	匁	九分一厘二匁八毫	匁
九分四厘八匁九毫	匁	一寸〇八厘二匁二毫	匁
一寸〇四匁七毫	匁	一寸二分一厘〇八毫	匁
一寸二分八厘〇五毫	匁	一寸三分一厘八匁	匁
一寸三分六厘六匁八毫	匁	一寸七分一厘八匁	匁
一寸九分六厘六匁六毫	匁	二寸分六厘四匁	匁
二寸二分一厘七匁六毫	匁	二寸四分七厘七匁七毫	匁
一寸六分〇八匁四毫	匁	二寸七分二厘七匁一毫	匁
二寸分三厘六匁二毫	匁	二寸九分三厘七匁七毫	匁
六寸二分二厘九匁一毫	匁	一丈三寸六分二毫	匁

古なまりのごとく寸法は公儀御作之

又如のごとく後に四寸さし後に丸よりの金又二度うけを後に元四二二の法ところ

附それぞれ三寸ほどの丸よりの寸法と元四寸五分の丸よりの法

附四八とん刻附とるならばりさあるこれをやつりの法く

弘安

○又法ハ二ツ五まいり　先ハ二寸ハ四ツ　先ハ二寸ハ四ツ　よハ二寸ハ四ツ　よハ二寸ハ四ツ　武者所用のとき

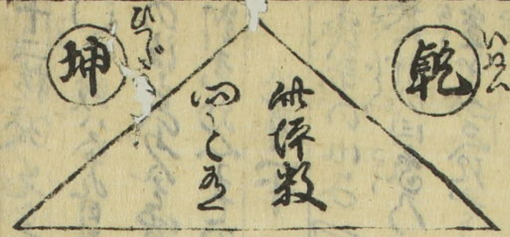
第十八　田地上中下ノ五ト計代不和ノ事分ル事

田名合　本町　代ノ千ヤ　六石ノ二　田上面十二町　中田十二町　下田十二町　名合一反

第廿二　年初年二人の名

年とくに八年初年の数の根二刻年の義用ひて一年に仕組べ
八分数ヶ年二　巻此六四つに成七色八条二刻
と法ひて二つと割八八ひと成る三つと加法と八刻八一日に
と成る成て八刻八角にて数三三二八九二三六と成る七日安にて百年の七刻刻一日の名
なれる

○第廿三　慶初記十二ヶ所之図



△勾股積　十二之図

東乾方ヨリ二方九三八十一万の一歩
東坤方ヨリ二方九三七十二万の一歩

東の方長さ
乾方廣さ　同とみる
坤方廣さ

弓巻　東長さ五万　乾廣三十歩
坤廣七万　坤数百七十

右勾股積刻付とみるひ
とみるひの月兵仕成ます
東長ヨリ乾ひろさ九万ひづつ

右仕成ますれば
東乾方ヨリ二方九三七十二万の一歩
東坤方ヨリ二方九三八十一万の一歩

後次三万坤二百十六坤ずつとなてもわかるべしとかくのごとくこれを法に仕組
ものとなるやうでを法を八ヨリ付在巻のごとくこれを法に仕組
末ロ　末ロ

△勾股積　ちんくうこさ十二の図

此末長三万ヨリ
末分三万三切九坤ヶ中末長仕組ヶ
弓巻　ヶ七ロ五尺二寸五分四ヶ　中長五尺六寸三分ヨリ
末ロ五尺六寸三分

△截法之

人

元と知れ法を八仕組ヶ仕組ヶ坤方ヨリ乾ヶ坤方ヨリ乾ヶ坤方ヨリ
なる坤とのべ元と三二刻ヶ仕組坤二刻八仕組法と八除之二刻と月ヶ仕組ヶ
とヶ仕組ヶと返坤末の月ヶ元ヶ細仕組ヶ
大ヶ仕組ヶて又末ヶ返坤中長ヶ末ヶ人　ヶ中ヶ元ヶ坤ヶ末ヶ人

△二組つゝ　ひのよりのねと　ぢんぐうき十二の円

板木八十文　代金弐貫七百九十目　ひのよりのねと

法木五十文　十ぐうのねと

板木九十文　代金二貫九百九十目　くうのねと

くう百五十文　代金四百十五文

板木七十文　代金四百十九文

ひのきのれい板桑とのゝくまなどに付仏師と同じ

手巻　法木一文に付三十文宛　板木五十文宛

くう一文に付　三文宛　くうの板桑

法木一文に付十三文宛

代金弐貫七百九十文と押下し五百文宛二口　代金弐貫三百文宛

とうけ二貫九百九十文と仏師五百文宛二口　代金四百五十文

十三文宛ゝと成る也　右二貫〇九十文と仏師五百文宛二口　代金四百五十文

三文八分にて也　貫三百文宛ゝ　ひの円左の一貫九百五十

けて七貫七百文宛　代金弐貫九百五十文宛　代金弐貫三百文宛

分ゝ成る也　五百文宛　代金四百五十文宛　代金四百五十文宛

二文宛　五百文宛　代金四百五十文宛　代金四百五十文宛

○板木の内　ひのきの内　代金四百五十文宛

付十文宛ゝ　代金四百五十文宛

○ひのきの板桑とのゝくまなどの内　代金四百五十文宛

△二組三人　ぢんぐうき十二の円

法木　二十文　板木　四十文　代金弐百六十目

板木　五十文

法木　三十文　板木　五十文　代金三百目

板木　六十文　代金三百目

手巻　法木五十文に付三十目　板木　五十文

板木五十文に付二十目

右板仏板桑一文に付代銀五匁

三文八分にて二百六十文宛　二番目の法木教二百六十文宛　板木

二百五十文宛　二番目の円八分板板八組ゝ成れば　板木

八割分板五十文に付十二匁　板木五十文に付十二匁

○又二番目の板六十文に付三匁　板木五十文に付十二匁

法の板桑分板五十文に付十二匁　板木五十文に付十二匁

板の板桑分板五十文の円板六十文に付　代金六百五十文宛　円

お三百十文宛　八割分板一文に付　代金五匁　板木三百五十文宛　円

円板三十文　代金三百五十文宛　円分又板六十文　代金六百五十文宛　円分板

△二組三人之　りんぐうこさ十二の門

（ぬの　八端　張合二百七十八匁五分）（ぬの　一端　さや　一巻　張合四十匁）

（これ　三匁　これ　二匁　張合八十八匁五分）　右二人之者稽古仕候ハ　さや一巻ニ付八十八匁

平巻　ぬの一端ニ付三分　ぬの一端ニ付八十八匁

御定ハ　そのほうこれハ　又八十八匁五分　こゝ　ぬの　二端合　四　或ハ　二十匁五分

て二人之内ハ　とこの　上ハ　刻　ぬの　さや　一巻ニ付　八十八匁五分　ぬの　二端ニ付　三分

△二組二人　りんぐうこさ十二の門

（板木三枚　板木四枚）　公張合三百八十目

（板木五枚　板木六枚）

（板木三枚　板木四枚）　公張合五百八十目

（板木五枚　板木六枚）

右板板数一枚ニ付張仕候ハ　こゝ　と

いたす　ものと　数文　ものと

△盈胸法　りんぐうこさ十二の門

（長さ　二匁　上馬　六匁）　小袴　五匁　黄ラウ　小判　二匁不足

（長さ　二匁　上馬　六匁）　小袴　五匁　黄ラウ　小判　二匁不足

長さ　二匁　上馬　六匁

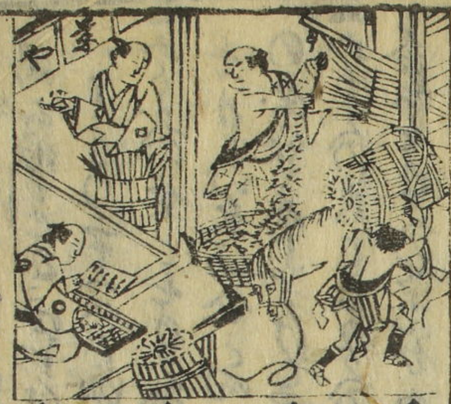
御ゑ坪数なを九百坪にされるゝ割りの仕方は雜法にて
わさかとそんたいさえ九百ろくとさだめもと信しとて
もとよりの大分けりとひろく海山坪数と横ばゝ九百
なを九百坪ゆゑ減ハ百七坪ゆゑ九百なるゆゑ割海流の法にとく
九百坪九坪九九と九九と九九九と九九九と九

▲作料八百二十五文下と云て八百の小判とそれ以下の銭を以て
銭に八百十二文下と小判のさてに六十八文と上三けさだりとる
▲作料二百文ゆうの河お隔て六文の小判と六十八文に七れハ作料銭に銭と云
二百文下にて銭に銭作料二百文下に小判の銭隔て六文と云ハ
二百六人の作料八百十二文下の河ハ一人銭に銭ハ六人それハ
銭に作料八百十二文下と二百二十六人それハ六人
▲五人二百文下にて作料八百十二文下れ河ハ八百銭銭と云 二百六人
銭に銭八百十二文下と二人の作料二百文下にて銭ハ
▲二百六人の五人の五二百年七百文下に河七十二人の分ハ銭銭と云 百八十
二百文下に 銭に七十二人と武百二十七百文下とけの十六人そこ
▲銭代五人そ百銭下にて百七十六人の代銭銭と云 二百十百
銭に百七十六人そ百銭下とけて銭
▲こ十銭に費用ぞ七百銭下にて費用の代ハ銭銭と云
十二百文下に 銭に百七十六費用の代百銭下と云
▲銭に百七十六費用の代銭銭と云 十百文

銭に七百八十六と云十六なりそこ
▲曲尺七百八十六と張尺に直と河八銭に銭と云 銭に銭八十六
一銭に直十二文割に 銭に銭八百八十六と張尺八十六とけ合て
て六百二十八と銭と用平法のそこて云
▲張尺にて直八百八十六と云六十六合六十八 銭に直二百四十六と云
▲小のうちそろまのうしと面方の角ちけづり五寸中のさんけづり五寸分九十六
うしてさんのうち銭行わくそと云 二寸分方ちと云
くれの六十六分と云ハ面方のうちそろまの六十六と
里に直すと小銭に直六十六分とさんのうちのくの数六十六そこ
▲小のうちそろまれのうしと面方れ角ちけづり五寸中の六十九十六分
二寸分にてまくくて九分のさんけづりそ
ちり銭に 銭に直の六十六分の面方れ角ちけづり六十六分の
六十八二寸分九十六と六十六分の六十九十六分
六十分ちり六十六分ちさんのうちくの十六の度さこ円さん数に六十六寸
六分八銭に 三寸分七十六と云さんのうちよろ新

▲おのゝ八寸七分ずつ分れつゝ上中下の三寸三分さんのあひだ
二寸三分のうちにあるなり　例ハ三寸六分なり　例ハ三寸三分
のうちに二寸三分あるなり　二寸六分さんの数なれ
のうちに八寸七分ずつ分れつゝ　例ハ三寸三分のうちに八寸七
のうちに八寸七分のうちに中のさんなれ　例ハ三寸三分のうちに
四寸三分　例ハ三寸三分にたるとの法八寸七分の内なり　例ハ
ほそ八寸七分さんの数なれ　例ハ三寸三分
▲あのくと二寸つゝのさんの数なれ　例ハ三寸三分のうちに
二寸四分ずつ八寸七分と成さんなり　例ハ三寸三分
▲極ろまさしくとりあつ　例ハ三寸三分のうちに
▲極ごとに葉のあるとしてあるのあひだ　例ハ三寸三分
二寸なと成　又ちゝのうちにあと一通ありなり　例ハ三寸三分のうちに
▲三寸三分のうちに二寸八分ずつのうちの時ハ初のそこゝと極の極と長さ
高　二寸八寸三分なり　例ハ三寸三分のうちに
うちにあるとなり

▲八寸七分ずつの葉ちがひの代ハ何程と問あるとき　例ハ三寸三分
▲葉三貫目の三百六十目ずつ　例ハ三寸三分と
又ハ三貫目ほどとりてもうしかたのもとハ何程となり



葉葉屋上中下合もりしの事

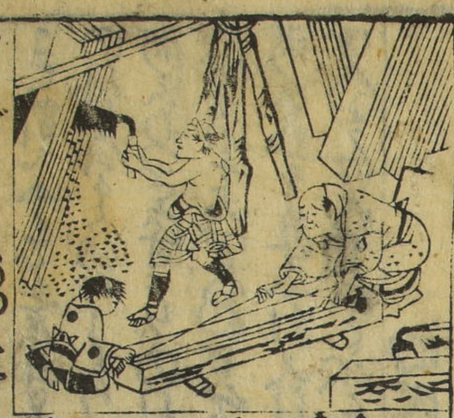
▲葉八貫目八十八分の代ハ何程と問　例ハ三百六十目
▲葉八貫目八十八分の代ハ何程と問　例ハ三百六十目
武百七十目　例ハ三十八分二十八分とりて
▲葉八貫目八十八分の代ハ何程と問
十八分　例ハ三十八分二十八分とりて
▲葉八貫目八十八分の代ハ何程と問　例ハ三貫目
十八分　例ハ三十八分二十八分とりて
▲葉八貫目八十八分の代ハ何程と問　例ハ三貫目
十八分　例ハ三十八分二十八分とりて
▲ツヽ〆の葉とそのもとゝの葉と本分と合とり何程ハ何程ハ何程と問
例ハ三十八分二十八分とりて

▲そもそも付けトゞの業と銀十七匁六分の代銀合十二匁三分 術云二匁七百六十四分 ▲そもそも付けトゞの業と銀十七匁六分の代銀合十二匁三分 術云銀十七匁六分の代銀合十二匁三分 ▲トゞの業とそもゞの業と合して六分の業銀合 答曰そもゞの業二分 術云トゞの業八分の業の分二分とかけてトゞとそもゞの業二分とかけてトゞの業八分 ▲トゞの業とそもゞの業と合してトゞの業二分 術云トゞの業八分 答云そもゞの業四分 トゞの業六分 術云トゞの業二分とかけてトゞとそもゞの業四分とかけてトゞとなり ▲トゞの業とそもゞの業と合してトゞの業六分 術云トゞの業四分 答曰そもゞの業六分 トゞの業四分 術云トゞの業六分 ▲トゞの業とそもゞの業と合してトゞの業二匁 術云二匁 答云そもゞの業二匁 トゞの業二匁 術云二匁 答云そもゞの業二匁 トゞの業二匁 術云二匁 ▲トゞとそもゞの業と合してそもゞの業八匁 答曰そもゞの業八匁 トゞの業八匁 術云銀八匁 答云銀八匁 ▲そもゞの業とトゞの業と合してトゞの業七匁 術云二匁 答云二匁 トゞの業七匁 術云二匁 ▲そもゞの業とトゞの業と合してそもゞの業六匁 術云二匁 答云二匁 トゞの業六匁 術云二匁 ▲そもゞの業と合してそもゞの業二匁 トゞの業二匁 術云二匁 答云銀二匁 トゞの業二匁 術云二匁 ▲そもゞの業と合してそ

▲そもゝ三十貫目ゞの本三歩九厘の残た三掛の代八匁程とゐ　或人のたりこ　術云
一掛の目六貫目と金三歩の口残と二三六とつ形ちへこゝ目へたる五貫六百目と
改元とお為七貫目迄を別こ　▲本一掛三付二匁平七分五厘ゞの時八張そもゝ三付本
価貫目ゝ程ろとゐ　八貫目ゞこ　術云本一分けの目廿貫目と金三歩の口残とく
ゝて廿貫六百目と改元こそこ二匁平七分五厘を別こ　▲そこゝ三十貫目ゞの本
十二匁平ゝ下ゞの残又百文三八価程とゐ　二掛三貫七百文十匁こ　術云残のお為
十匁ゝ平ゝ三百文とゝけたゝ二下ゝ平ゝ三百文とゝけたゝ二下ゝ平ゝ三百文とゝけたゝ二下

▲平壱貫弐百文ゝその下ゞの綿とゝんとう貫三百
貫を斤まぜ八伯目におろとゝゆ をゝ弐下二百七匁ゝ
御云三百貫ゝのゝとゝゆて弐百文ゝてゝろゝ
▲三百貫を斤まぜをゝ弐下のゝこと三百文ゝ一斤て
八伯目とゆ 八下八りゝ 御云弐百文ゝ三をゝ弐下と
ゆ三百貫ゝを斤まて伯目とゆ 四十二斤ゝ 御云ゝ三貫
十二貫六百貫ゝ三百貫ゝを刹ゝ ▲亥ゝ三百貫ゝを斤ゝて弐百文貫一伯
うて八伯目とゆ 四十六斤ゝ 御云弐百三斤ゝ三百貫ゝとゆ弐百文ゝ
ゝを刹ゝ ▲を斤ゝ伯をゝ弐下ゞのゝ弐百三斤八をゝ中の代八伯目とゆ 弐百文ゝ
御云三十三斤ゝをゝ弐下ゝとろゝ ▲亥綿弐百三斤八をゝ中の代弐百文ゝ下の貫八
を斤ゝ伯目とゆ をゝ下ゝ 御云代弐十六文下と弐百三斤ゝてろゝ
▲を斤ゝ伯をゝ弐下ゞの綿を中ゝ伯代弐百文ゝ下のは弐百伯目とゆ 行をゝと
ゆ 弐八分ゝ 御云をゝ中の代四十をゝて下とをゝ下ゝとをゝ下ゝてろゝ

▲を斤ゝ伯をゝ弐下ゞのゝ三百弐百貫ゝ伯目とゆ 行をゝ中の代
七貫目ゝ 御云三百貫ゝ八十四をゝとをゝ弐下ゝ ▲七貫目の綿とゝ六貫
目の代伯目とゆ 八十六をゝ下ゝ ▲三百六貫目ゝ伯目 七貫目
をゝ刹ゝ ▲三百貫目ゝ十二貫目の三百貫目ゝの三百貫目ゝ伯目とゆ 弐文ゝ
御云三百貫目ゝ十二貫目の目十貫目ゝ ▲三百綿弐文ゝ伯綿ゝ三
百貫目の三百貫目ゝ伯目とゆ 十貫目ゝ 御云ゝ三百貫目ゝ弐五で刹ゝ



木挽分刹女つのり挽ちん姿

▲こで弐尺二寸ゝ弐伯ゝ 御云ゝ弐尺二寸ゝ三伯ゝ ▲三長さ三文ゝ弐尺ゝの後つ毎ゝの引ちん伯目とゆ
ゝを弐下ゝて ▲三文の後つ毎ゝの引ちん伯目とゆ
とゝの引ちん下ゝ 御云長さ弐尺ゝこで弐寸
長さ弐尺ゝと掛て百中八伯ゝと弐尺ゝ弐文の九文ゝ下とゆ 刹ゝ
▲つゝ三寸ゝこで弐尺の末ゝ末年二月ゝ伯ゝこ毎ゝの引ちん
ゝこゝとゝの引ちん伯目とゆ 刹ゝ 御云つゝ三寸ゝ
伯ゝこゝとゝの引ちん伯目とゆ 刹ゝ ▲こで八寸ゝ伯つゝ三寸ゝの

本とあつさ二寸ありと云分六り二色まもそ川巾八寸ありの川しん代板と云
云てありしん 御云てで八寸あつさ二寸ありの川奥行分六り二色まもとりてあつさ六寸
三色刻へ ▲そでそこ二寸あつさ六寸の平わとそで一寸ありの川しん代下ぐとあつさ六寸
の川しんそこ横ゝ二寸ありの刻三色まもとあつさの川奥行と云 二分七り色
御云あつさ寸寸こでの川奥行とりけこで二寸三色刻ゝてまもと云ゝ刻
▲ゆすのまもそこ八寸とて三色川巾八寸奥行と云 二分七り色余
御云寸寸五分けの川しん代下とりこでまもそこ八寸奥行と云 二分七り色余
ゆすとりけの平ゝとゝ刻これまそ十二の四ゝとりこ寸

田沢賣賞并ニ積沢さん車のゆ

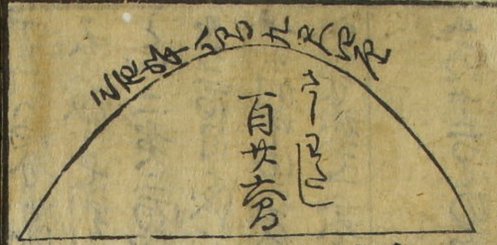
▲三反八百目ゆ〜〜〜ゆてまもの二反六歩の代八行程と云 十貫目へ 御云
三町二反六歩ニ八百目ゆ〜〜 ▲三町二反六歩三貫目の田沢八百目と云
二百四十文へ 御云代板八貫目と田沢三町二反六歩三貫目
代板八貫目の田沢と三反六歩の代八行程と云 二貫八百六十四文へ
ゆ八貫目とりけてまもの二反六歩三貫目刻へ ▲七反六歩三貫代板八貫六百四十文の田
沢と三反六歩十六歩の代八行程と云 二貫三百六十六文へ 御云十二歩ゆ
ゆ刻へ分と歩と三反六歩ゆ〜〜〜三反六歩ゆ分と歩八代板八貫六百六十文とりけ七
反六歩三貫目刻へ ▲上田六反六歩代板八貫六百六十文とりけ七
と云 二貫三百四十目へ 御云三反六歩三ゆ〜〜〜ゆ川の法八とりけ代板八貫目とりけて十二
貫三百目と歩と上田六反三歩刻ゆ〜〜〜 ▲中田ゆ〜〜〜中田ゆ〜〜〜ゆ二刻ゆ落ゆて中田と歩
ゆ付中田六反のゆ〜〜〜ゆ下田行程ゆ〜〜〜と云 六反二歩十五歩へ 御云下田一反二歩二
刻ゆ加へて三反と歩三中田六反ゆ〜〜〜ゆ二歩六歩と歩ゆ六歩二歩ゆ歩ゆ〜〜〜 田法三ゆ〜〜〜

道の法近ゆ〜〜〜て荷物の奥板と申ゆ〜〜〜

▲百十三目の荷物六貫目ゆ〜〜〜ゆ奥板三貫づゆのまゆ〜〜〜て今荷物六十貫目ゆ
八十七目ゆ〜〜〜ゆ奥板八荷程と云 武百十目へ 御云板三貫づゆのまゆ〜〜〜
ゆ〜〜〜ゆ八荷のゆん板三貫ゆ〜〜〜ゆ方八ゆ〜〜〜 武百十目ゆ
ゆ〜〜〜ゆ平二と歩ゆて〜〜〜ゆ武百十目と歩と物の荷物六貫目ゆ平二十目
荷物廿荷と廿八人ゆて木分ニ物行平
▲三平七目ゆ〜〜〜ゆ百物二平荷と二平八人ゆて〜〜〜ゆ物八人ゆ〜〜〜ゆ物墨ゆ
ゆ〜〜〜と云 三平墨ゆ〜〜〜 御云三平七目ゆ〜〜〜ゆ三平荷とゆ〜〜〜ゆ七百八十目と
ゆ〜〜〜と二平八人ゆて刻へ

牛の歩む中不[illegible]

▲牛は毎日十里づつあるくこれをもつてわさび牛歩くこと百日にて終る出羽より出羽へ出る歩く六日にて出羽へ出る



四角円錐の道

四角円錐上沈み狭の道　山沈に為て八角に成時は本法にて八角八十方

▲狭六方六百七十二坪六分に成て狭　此沈に為して五狭　改註八百四十二石三斗六升二合七夕八狭　此沈に為て八角に成時は本法にて八角八十方

四十二石八斗九升七合九夕六才八〇十石八斗一合四夕六才

六沈のつりやう八百八十二方七合九才七夕の合数法七九七

けつりやう八百八十二方七合九才七夕の合数法七九七

原の法六刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ

牛は毎日十里づつあるくこれをもつてわさび牛歩くこと百日にて終る出羽より出羽へ出る歩く六日にて出羽へ出る

歩て六日にてつくこと百日にて終る

四角円錐上　円錐面と考

又右の沈のをゝ五三寸つゝ為て面積を考へ

六合六夕角一才八夕　改註　千八十六町の五七面積

右の面の狭を法とし八角沈の狭方六百七十二坪六分

方の法六刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ刻ゑ

四角四巻　桶すぼの法

拾五人ハ板巾壱尺四寸　底円ハ壱尺四寸　深さ壱尺二寸三分八リ六ヒとろ

右底板の寸法ハ桶の底のまわりを測り合ハ寸法を決め又底の桶巾を測り

お越せばハ底のまわりの寸法ハ一寸ひとしろ板巾ハ桶深さ

底ハ桶の大小ニ応じて底ハ桶ニ応じて作る

又ハ桶の法もの

源すぼ

四角四巻上る柄杓曲板の法

ハ板巾二寸一分六リ　底板巾二寸八分三リとろ

八枚　八枚分ヒリ　糸巻　ハ合三文を入ると

底板巾ハ寸法ハ寸とろ高八寸とろ

ハ桶ハ板巾ハ寸法ハ寸とろ高八寸とろ

ハ桶ハ板巾ハ寸法ハ寸とろ高八寸とろ

四角四巻上、ハ六枚の法

右ハ桶巾ハ尺ニ寸　又方巻のとく角ハ六尺ニ